

六稜會報

百周年記念式典報告号

(通算第6号)

西村純平氏の御名書

西村純平氏(32回)は昨秋、産業・金融界に功労ありとして勲二等瑞宝章を授与されました。会員一同心よりお祝い申し上げます。

「百年」という歴史の重み

地域貢献事業をメダマに

総務委員長

(41回) 新井 清

皆さん、本当にありがとうございます。かずかずの記念行事を思いかえして、百年という年月の歴史の重味を、つくづく感じました。明治から大正をへて昭和の今日まで歩んできた卒業生の層の厚さ、伝統の力があってこそ、この歴史的な大事業を滞りなく済ませることができたと信じております。

最後の懇親パーティー、皆さん服かに敬談されているのを見ながら、わたくしは、下世話な方ですが、それまでずっと「手弁当」で走り回って下さった方々の姿を思いうかべて、全く感慨無量でした。

百年を迎えるということは、何といても歴史のひとつの大きい区切りです。「百年目」ということばがありますが、これは「めったに会えない好機」ということだそうです。わたくし達は、この好機にめぐりあえたわけです。

百周年記念事業計画が具体的にスタートしたのは、47年4月からです。スタートが随分おくれました。準備期間が一年半よりないのです。お引受けしたものの、百周年記念というような大きい事業が、果たしてできるものか非常な不安がありました。「百年がくるのは、二年も三年も前からわかっていることじゃないか。準備が遅いゾ」といったお叱りも耳にしました。とにかくタイム・リミットまで全力をあげ、最善をつくそうと世話人一同が申し合わせ、選二無二スタートいたしました。

こんどの記念事業は、六校同窓会として歴史的なものです。それだけに、もちろん献酬のうちにも盛大にやらなければなりません。それとともに北野の卒業生らしい何か地域貢

献事業をやって、これを「目玉」にしようじゃないかということになりました。それで第一に考えたことは北野は府立です。この百年間、「北野」は府民によって、育てられ、盛り上げられました。それで縁が少ない大阪に、こころ休まる憩いの場を作ろうということになり、大阪府、大阪市に相談しました。その結果大阪城二の丸の五万平方メートルの土地に梅林を寄贈することになりました。大阪市には梅林はないそうですし、梅の花は学園の神さま菅原道真ゆかりの花で、「此花」ともいい、大阪に因縁が深いのです。この「梅林」の中には「あずまや」も建て、百周年記念事業として六校同窓会が寄贈したという石の標識も建てることになっています。目下造成工事ははじめており、「梅林」を今後管理して下さる大阪市の話では、今春早々には、少しでも植えて、二三本でも花をつけさせたいということです。大阪府市民の方にも「憩いの場」になるし、全国から観光客が訪れる大阪城内のことですから、きっといい記念になるでしょう。

もうひとつは百年記念式典に先立ち、九月二十九日、堂島の毎日ホールで開いた「大阪府民への感謝のつどい」です。大阪府教委から借りた映画「明治の大阪」は、わたくし達大阪人にも大変有益でした。阪大名誉教授の宮本先生がお得意の「大阪文化百年」の講演をされ、辻久子さんが名器で話題になったストラディバリのバイオリンの弾きはじめて、千数百人の聴衆をうっとりさせました。そして最後の映画「恍惚の人」まで、ほとんど帰る人もなかったように、大変盛会でした。

この二つの記念事業が「目玉」というわけで、馬力をかけましたが、「大阪府民への感謝のつどい」は宮本、辻両先生が「こんな意義のある事業だから」とおっしゃって、狂げ

てご出場下さいました。厚くお礼申上げる次第です。

ここで一概に「北野百年」といっても、戦後の学制改革によって、旧制中学から新制高校へ移行したために、旧制と新制の卒業生の間に、同窓会というものに対する意識のズレが大きいのではないかと、そうであるなら、どういう形でこんどの百年記念に統合化をはかることができるだろうか、ということが当初の問題でした。そのため新制卒業生にも、できるだけ世話役に入ってもらうとともに、「大阪府民への感謝のつどい」の運営を、一切新制卒業生にやっていただくことになりました。最終計画はギリギリになってきまったのですが、ところがどうでしょう。終盤でスルスルと進捗して、見事にこの行事を実施されました。若い人の力が結集したのです。この人達によって、つぎの記念事業はきっと立派に遂行されるでしょう。

先般新聞に投書がのっていました。「大阪府民への感謝のつどい」と「梅林寄贈」について、これは同窓会の今後の新しい行き方だと、おほめのことばでした。

大きい事業であったために、表に出た人、ウラで支えて下さった方、随分たくさんいらっしゃいますが、皆で力を合わせたおかげで、どうやら百年記念事業もカタがつきました。

なお、この事業がうまく運んだことについて学校側諸先生や職員の方々のご協力は忘れることはできません。とくに朝早くから夜おそくまで、面倒な同窓会の仕事をつづけて下さった藤井校長先生には、心からお礼を申し上げます。

また休日まで学校へ出て同窓会事務を処理して下さいました百年記念委員会副理事長、「大阪府民への感謝のつどい」に力添えをいただいた毎日新聞社、式典・懇親パーティーに協力していただいた朝日新聞、「梅

林」寄贈について、いろいろご尽力を煩わした大阪府、大阪市、警備についてご配慮をいただいた大阪府警本部に厚く感謝を表します。

尚、収支決算報告が本号に間に合いませんでしたことは誠に残念ですが、次号の一般会計報告と共に、御高覧に供しますので、何卒よろしく御了承願います。

感謝をこめて……

副会長

41回 上野 淳一

母校創立百周年の記念行事がすべて終了した今、実のところホッとした気分になって静かに反省している次第です。

先輩、同級、後輩の諸氏からおほめやねぎらいの言葉を頂戴して恐縮しきっている私です。寺尾会長のもと、その肩に当たった人々の総力を挙げた企画であっただけに裏方としては何としてでもまとめあげることのみ神経を使っていました。

まず、記念行事の前夜祭ともいべき「府民への感謝のつどい」は9月29日堂島の毎日ホールで開かれ、11時開場のところ10時頃から入場者の行列ができました。大阪弁の宮本又次博士のお話につづく、辻久子さんのストラディバリウス・バイオリン独奏は、「時の人」でもあり聴きごたえ充分、映画「恍惚の人」はどの年令の人にとっても考えさせられるもの、これだけの企画が無料公開されたのはさすがながい歴史を誇る北野なればこそと評判でした。

10月6日の母校の記念式典には何十年振りかで講堂に入りました。校長の式辞もよかったし、外山教育委員長、黒田知事、寺尾会長、上島PTA会長の祝辞は何れも百年記念に相応しい内容のあるものでした。それにも増して素晴らしいのは校歌とハレルヤコーラスでした。特に校歌は昔私達が歌っていたのとは違う曲ではないかと思われたくらいテンポの速い軽快さをもって斉唱されました。それがまた現代にピッタリした感じが巧みに出ていたのは感激させられました。記念展覧会も充実しており、僅かの期間の開催が惜しいくらいでした。「北野百年史」の完成に至っては諸先生のお骨折りの程が察せられ「エンサイクロペディア北野」の感が致しました。

感謝と感激を以て終始した式典当日を送って同窓会もまた翌日は頑張らねば……と決意を新たにしたいわけですが。

10月7日、陸続として集った同窓会総会では遠きは盛岡或は九州から2300余名「朋有り遠方より来る亦来しからずや」の言葉通り朝日フェスティバルホールを埋め、ロビーにあふれ、そこそこに見られる同級生グループの交歓風景は校友のみの知る美しい情景でした。一部、二部、三部、とくりひろげられたプログラムは何れも北野百年に相応しく、文化勲章を受章されたお2人のお話のごときは一同が誇りを以て聴いた講演でした。

森繁君を中心に最高潮に達した終幕は、講堂の旧制中学卒も新制高校卒も全く心を一にした集団でした。恩師の先生方もさぞかし喜んで下さったのではないのでしょうか。

あとは大阪市に贈呈した梅林公園がどのように完成し、成長するかを見守らねばなりません。しかし、これも亦所得た先輩が自らやって下さるのですから心配はないと思っています。

朝日文化ホールで引続いて開かれた交歓会がお蔭様で大過なく一日の歡をつくして散会したのは午後7時でした。老年の先輩から次々帰路につき、クラス会を開く組があり、最後に残ったのはここ数年間に卒業の高卒若年組でした。朝日文化ホールに1300人以上の人を収容したのははじめてでその熱気は大したものでした。

当日売りの記念品ネクタイも冊子「六校百年—その思い出」もよく売れたそうです。受付の役を買って下さった方は大忙しで、フェスティバルホールの中へ入れぬほどのお気の毒でした。また、女性の同窓生諸姉の活動が雰囲気や和やかにしたことは嬉しい限りでした。心からの喜びと感謝の意を表して報告を終わります。

(昭48.11.15)

総 会 記

一部、二部

企画委員長

41回 山本 勝男

朝、静かに雨が降っている。開会の時までは晴れそうだが、一まつ不安な気持ちで、準備委員達は10時頃にはフェスティバルホールに全員揃った。音楽関係者も舞台上集まってきた。

受付関係の諸設備が運びこまれ漸く騒然としてきた。準備委員長田村博孝君(47回)、受付責任者日高成君(60回)の指揮に従い、動員された若手同窓生50~60名が万全の準備

をすすめる。祝賀懇親会の受付には大和銀行勤務の同窓生が受入金の取扱いに当たってくれている。

雨もまったくあがってしまったようだ。正午前からフェスティバルホールの階段を次々と上ってくる同窓生の楽しそうな顔、30分程の間に続々と受付前を埋めてしまった。恩師も来賓受付で女子卒業生から胸章を付けてもらって嬉しそうである。0時50分開会合図、人の渦はホールの中へ。

六校交響楽団の開会ファンファーレ音楽の鳴り始めとともに幕があがる。北野高等学校創立100周年記念六校同窓会総会の中吊りが大きく浮びでくる。ライトブルーの背景照明を受けて金色と白線の六校の校章が舞台の上に高く輝いている。盛んな拍手がひとり出にわき起った。明治45年卒の前田和郎副会長が舞台中央に。

開会あいさつ 15回 前田副会長

「明治6年4月に発足の北野中学、北野高校はその間、山あり河ありで非常に困難な時もありましたが、1世紀の長い年月を経、本日は既に第2世紀に入っている。医学が進歩し寿命が延びたので、本日参集の若い人々にはなお将来洋々たるものがある。各自の道に精進され六校の星を輝かせて頂きたい。」

物故された恩師ならびに同窓生のご冥福を祈って1分間の黙禱が静かに流れる交響曲「英雄」第二章(ベートベン)とともに献げられた。終って「君が代」が舞台上に並ぶ140名の交響楽団と合唱団(総指揮白井次郎君(39回))によって演奏され、引続いて開会の音楽ヘンデル「水上の音楽」が蛭沼進君(57回)の指揮によって力強く講堂に響き渡った。この演奏のために同窓と在校生の音楽関係者(六校交友会メンバー)の努力は大変だったろうと思う程の出来であり、ハレルヤコーラスも一流の出来ばえにて拍手。素晴らしい開幕となった。ホールは2階も一杯になった。

式 辞 36回 寺尾会長

「我々の母校が明治6年発足以来いろいろな形で変遷し、昭和23年に高校となり、新たな制度のもとに力強く今日まで続いていることは同慶にたえない。

大阪を代表する北野中学として成長を続け、日本の学制の進歩の中で、東洋文化の上に西洋文化をとり入れた優秀な文化の担い手として、発展してきたと考えてよいと思う。

過去に学んだことに感謝し、将来への発展を若い年代に期待したい。よき伝統をもち、さらに伝統をつくりつつある自覚のあることを新しい卒業生に期待している。ささやかな感謝のあいさつをもって式辞とする。」

厳格な式辞を終り、100周年記念事業の支柱であり、ハイライトになる大阪市への梅林公園贈呈に移った。*同窓生のための募金。によってという高橋慶夫募金委員長（40回）の主唱により集められた2,900万円であるが、本年度から始められた大阪市公園計画の第1号として大阪市内に2,000万円を寄付し、大阪城二の丸に造園しようとするものである。寺尾会長より大島市長に梅林公園費用の目録が渡された。感激の拍手が講堂をゆるがす。

大島大阪市長「大阪市各区に一つづつの花の名所公園を造る計画に對し、その第1号公園となることが殊のほか感謝であり、日本の公園制度制定100年の年に六校100年の記念公園ができる奇しき因縁を思う。来年3月には少しでも花を咲かせたいと檜崎公園管理部長（59回）が張切っておるから楽しみにしている。300万市民を代表して心から感謝します。」

続いて黒田大阪府知事（41回）が祝辞に登壇する。同窓生で初めての地元大阪府の知事である。これも100周年の奇しき運り合わせかとの感懐をもつ。「明治6年の欧学校以来の100年、時にはやり、時にはあえぎ、きびしくも栄光に輝く100年をこのように盛大に祝うことを心から喜ぶ。卒業生の1人として、また伯父、弟2人、娘2人と終始一貫北野に恩義を感じて生きておる。同窓から励まされて現在の仕事につき努力をしている。北野は古いだけが自慢でなく、且優秀であった。その教育は極めて厳格であった。厳しいしつけを受け、自分のことは自分でやり、責任を他に転嫁しない。ハタタリをやらない（そのためか大政治家は殆んどでない）地道に社会の発展に寄与する人が育っている。100周年記念に府民集会を開催し、すべての府民の力で育った北野の恩恵を府民に示してくれたことにお礼申します」

続く藤井通雄北野高校校長も昭和6年卒（44回）の同窓生である。100年という時点で総力結集の感がある。「100年は10年の10倍ではあるが、アラビヤ語の100は99+1であってそ

れは永久を意味する。北野100年の歴史の重さを身をもって感じている。エコノミックアニマルにならずに共同社会のために働くことで北野の永久の発展を期待する。本日欠席の安藤清二先生の和歌で結びとする。

「百年の齡重ねし 六校の魂ゆるぎなき 学びの園に」

祝辞を終って、表彰となるが、文化勲章受章者にはお祝い、旧校長・旧職員・現職員には謝恩、同窓会功労者には感謝という形による表彰に移った。

46年度と47年度の2年続いて文化勲章受章者が六校出身者であったことを同窓生は大きな誇りと感じたが、38年度受章者八木秀次博士（明治36年卒、電気工学）46年度受章者安井琢磨博士（大正15年卒、経済学）47年度早石修博士（昭和12年卒、医学）にお祝いをした。（八木氏欠席）

旧校長を代表して竹内鉄二校長、旧職員を代表して保田茂二郎先生、現職員を代表して平石亮三先生に謝恩。

同窓生の現存最高年令者飯倉真太郎氏（明治29年卒、95才）への感謝はご子息が代理され、父子孫の3代にわたる同窓生の代表として安場忠雄氏（昭和2年卒、父清次郎氏、明治21年卒、子息耕郎氏、昭和33年卒）に感謝。続いて同窓会理事として永年の功労者石津作次郎氏（明治38年卒）と同窓生であり永年校医である勝正雄氏（大正4年卒）に対して感謝を全出席者の感謝の拍手に包まれて記念品が会長から手渡された。

以上で、第1部の式典を終り、第2部の記念講演となる。その間ロビーにある六校100年値い出記は200円のカンパで売れており、大会記念品の校章入りひもネクタイは1,000円で飛ぶような売れ行き、記念品委員長脇阪氏は赤字にならなくてよかったという表情で安心の様子がうかがわれる。

記念講演「医学の未来」

50回 早石修氏
「昨年思いがけず文化勲章を頂き何よりも嬉しかったのは、北中の恩師、級友からお祝いや激励を得たことであり、在校生からも手紙をもらった。此の上ない喜びである。

医学の未来について若干の感想を述べるが、例へば最近まで非常におそろしかった小児マヒ（ポリオ）は完全予防ワクチンが出来、絶滅に近く、忘れられ研究者の数も減って

きた。

37年前に卒業した頃の医学の重要課題は結核、肺炎、腸チブス等外から細菌が入ってくる病気—外因性のもの死亡原因のトップであった。阪大では谷口教授について細菌学の指導を受けたが、軍医を済ませて帰阪した時、今後学問でリードする化学を学べと指導され、生物化学（酵素）の研究に入った。外因性病気が減少してきて内因性病気がでてきたためである。

死因のトップに心臓病、高血圧など血管系のものになり、神経ホルモン、アミノ酸、酵素の代謝異常による病気である。現代医学で最も関心の深いものはガンであるが、ガンは外因性か内因性か、多くの研究に拘らず分らない。外因か内因かがはっきりすれば治療方向が決まる。

内因性は身体の仕組みであり治療予防は難しく、基礎的研究の発展にて解決しうるものである。難治性疾患も次第に征服されてゆくだろうが、地味な基礎医学者は少く、基礎医学者は減ってきており楽観を許さない。北野の子弟はこの方面に増えてほしい。

未来の医学を考えると、老化現象の研究は盛であるが、これまでは時間ファクターが欠如していた。赤ん坊が細胞分裂から老人へそして死への過程で、生物の身体の中に時を刻む仕掛けがあるという理解から、人間はどこに自然の時計をもっているのだろうか。細胞が時をきざむ増殖—分化—成長が年をとれば高血圧、心臓病、ガンになるのか。

不老長寿も次第に可能となり、100年祭がそのうちに150年祭にも200年祭にも出席できるようになるかどうか、荒唐無稽の夢ではないと思っている。

「経済学の現状」

39回 安井琢磨氏
「大正10年芝田町の学校に入り質実剛健のスパルタ教育を受けた。本生達を思い出すが仇名ばかりで本名がでてこない。化学の先生が話下手であったので一生縁がなくなってしまうが、安藤清二先生から一生懸命に良い英語を教えてもらったことを時に触れ思い出す。数学はもっとやっておけば良かったと思う。中学時代の学問が私の基礎を支えている気持である。社会科学である経済学と自然科学との差は、その対象が時間とともに変化移動するものであり、1776年のアダムスミスの国富論以来学問的形態は、1870年代の限界革命から近代経済学が発展、1930年

代の初めの世界恐慌から、近代経済学を新に見直すことで勉強の始まりケインズ革命（不況と失業）となっていた。数学は言語であり論理であるから、経済学の論理展開の道具として用いる世界的傾向が定着してゐる。

極めて最近1960年代中に経済現象の様相は変ってきた。昔はインフレとデフレとが交替していたが60年代ではインフレは昂進する一方であり、物価は上昇一途でその率が著しい。日本のみならず先進資本主義国もどうしてこれを阻止できるか経済学者は頭をしばっている。どうしたら解決できるか世界中の学者が新しいインフレへの有効手段を見出してゐない。第2の革命といわれている大問題である。経済学の論理で片付かない政治と経済の接合点に生れているのだから、経済学は従来の分野を越えその座を越える必要がある。

インフレと並ぶ大問題は、公共財や環境破壊問題などであり、経済学でいう財は個人が買える私的財であるが、市場のメカニズムに乗らない現象（価格で表示できない）—公共財—はこれまで財政学一部担当してきたが、十にも一にも果たす公共財の役割はこれからの問題であり、10年足らずの間に世界一般に起こってくる問題である。社会主義体制にも起こる体制を超える問題である。ポケットのもので買える財は豊富になってきておる一方、空気・水・環境の住み難さのアンバランスの回復を経済学は研究しているが未解決である。公共財のアンバランスとインフレとを新しい課題として第2革命への奮起は20代の若い学者を必要とする。難しいが又とないチャンスにおいて経済学の基礎を越えその発展に役立つ野心的な取組みを期待します。」

解かり易く、且感銘深い両博士の記念講演は、時間的制約（それぞれ30分づつという短かさ）があったにも拘らず参加者は満足そうであった。

ここで舞台転換、第3部バラエティ北野100年となる。（別稿）

喧騒をさわめる舞台上野副会長が登場、閉会のあいさつを述べ、六校校歌の大合唱となる。年令を忘れ、老若男女が六校の絆で結びあった感激を校歌に托しての大合唱である。上野副会長の発声で万才三唱、総会の幕はおりた。

第 三 部

66回 丸 野 豊 子

「ガラリと趣きを変えてバラエティショー—北野百年の開幕です。

歌あり、音楽ありそして往年の紅顔の美少年も登場いたします。さまざまに趣向をこらしました数々のシーン、どうぞごゆっくりとご覧下さいませ。

構成演出は香村菊雄。大正15年卒で、現在は宝塚、OSに日本歌劇団、宝塚新芸座の構成と演出をしています。舞台監督は河村敬彦昭和24年卒で、音楽監督と指揮は昭和15年卒の野口藤三郎と野口令とリズム・エアーズ・オーケストラ。司会 は 朝日放送の 浜田精造、昭和19年卒です。

又同窓生として本日は森繁久弥さんにも登場していただきます。どうぞ期待下さい」

という司会者の挨拶で始った。

「ふるさと、*荒城の月、などの日本歌曲をメロデーで、演奏、軽快なリズムにのったまま、*六稜の星のしるし、の伴奏が流れ出しました。

舞台下手から伴奏に合せて校歌を歌いながら森繁久弥さん（45回）が登場。一番から三番まで例の森繁節で味のある歌いぶり。このような校歌もあったのかととり聞き入りました。三番は「大東の邦の運命。と、それまでと打って変って大きな声で始まり、あとはメエ……ウ……かかれり、アア……励まざらめやとなった。歌詞が忘れられたところを、アア……ウウ……ですませてしまわれたのは、さすがベテランの賞禄充分ということでしょうか。

司会者が中程に進み、司会者「先程の文化の賞などの推薦にもれました森繁久弥さんです。

御推薦のお考えのある方は、私もどもなるべく早くしておいて下さい。百十周年位にはお願いしたいですね。同窓会といういつも森繁さんにおこし願うことになりまして……どうも。」

森繁「飛行機もホテル代も自弁で、なお、その上に寄付しろというようなお話をございまして……。」

司会者「会長になりかわりまして、厚くお礼申し上げます。森繁さんは昭和七年の御卒業ですか。」

森繁「六年ともいい、七年ともいい、名誉ある落第もさせていただきましたが、どういう もんですか、数学がよく出来たりするのが

一番になって、歌のうまいのが一番にならないようになってるようで。こういうようでは北野もよくならないと思います。これからはお芝居がうまいとか歌がうまい子も一番にして世の中に送り出さないことにはどうもいいのが出てこないようでございます。べつに私が云うわけではございませんけれども……。」

司会者「しかし、芸能界に出ていらっしゃる方は少く、歌手も少いですが質がいいのではないのでしょうか。」

森繁「質ですか……どうですか……へへへへ、私の同級生に野間宏君がいましたが、私よりはるかにいいようでございます。」

司会者「丁度、森繁さんかいらしや……った頃は十三の方へかわる、あの前後じゃないですか。」

森繁「残念ながら十三は知らないんですが、長いことボブラの並木六稜のというボロ校舎の方へ月謝を納めまして、寄付も取られまして、それが十三のストープのお金になったりしたそうで。」

司会者「いい目をちっともしないわけですね。」

森繁「終戦後は女の子が入って来たそうで。」

司会者「女の子という話では後ほど、そういう人達に登場していただいてお話を伺いたいと思っていますのですが……。ここで一つ御対面があるんですが、森繁さんに……。」

森繁「これがいやなんですがね。私があまりいいことをしていないもんですから……。」

司会者「女性なんですが……。」と云う様なやりとりのうちに森繁先輩リードによる軽妙な会話の御対面があり、結局、当然いままに女子の第1回卒業の後輩ということで昭和26年卒の女子卒業生二十数名が登場。

森繁「あなた方は一番最初に北野にお入りになって、聞けば大手前女学校と北野中学とが男女混浴になったんで……。ああ混浴じゃない共学になったんで……。『爆笑おくる』すぐにお風呂のことが出て来て申し訳ない。半分ずつに分れて、大手前にも行ったんでね。……。」

森繁「私などは飯盒と飯神で甲子園から通いまして、途中、目のあった女性のあとをついていったのを密告されて3日間停学なんてこと

をさした先生がいらっしゃるんですが、ありがとうございました。いい経験をさせていただきました。どうも……。」

司会者「本当にプラトニックですね。」

森繁「プラトニックというんですか、かえってそんなのが不潔なんじゃないですか。」

司会者「今の方がオープンでいいですかね。…その時分の物心ついた頃に歌ってられたのをお願いします。」

森繁「それでは今日はお年を召した方も多いので「寒をめでたらば、を歌いましょう。」で順となり、このあと、森繁さんに最も新しい卒業生から花束の贈呈があり全員で知床旅情を合唱しました。

森繁「いつの間にかたちました百年でございます。誰かの言葉に「成すべきことの多くして成したることの何ぞ少き、振りかえって見れば、私の青春も全く無為に過ぎたようでございます。せめてこれからは一生懸命生きたいと思えます。百周年、おめでとうございませう」と森繁さんのお言葉でございました。

続いて「スポーツの思い出、に入りました。

剣道七段教師、居合道無双神伝流八段教師である大根一郎さん（大正十五年卒業）の素晴らしい居合のあと十二人の女性（有段者五人）を交えた現役剣道部員の息のあった型も披露されました。続いて黄色いユニホームを着たバトンガールズを先頭に、全国優勝の歴史を持つ当時の野球部と、ラグビー部の往年の名選手、並びに応援団の入場。

ラグビーボールのようなおなかをした人が大部分で、おつむの方も白くなった方やうすくなった方々が殆んどで、友情と固いチームワークをもち込まれた各選手の紹介があり「瀬江春の、瀬江の水、などの応援歌や三三七拍子などの応援風景がフェスティバルホール一杯に再現されました。

六稜健児は勉強するだけでなく、スポーツにも活躍をした思い出を卒業生全員でかみしめた感激深いシーンでした。

同窓会の名物男と云われる往年の応援団長岡田喜雄さん（41回）から「六稜魂は先輩の血を受けて赤々と燃えている。この六稜魂は永遠に燃えつづけるであろう。未来の北野を背負って頑張ってください。」と、若

い年代の人にバトンタッチされ、現役の若人達も「ようし、まかしとけ……。」と応答、同時にゴーゴーのリズムに乗って出演者を交えた舞台はゴーゴードダンスのホールさながらに展開。

だが「会場の同窓生の皆さん舞台へ上って踊って下さい」との司会者の声に反応を見せなかったのは「秀才の北野、といわれる所以でしょうか。ともあれ、全員の心の中は遠い昔、近い昔の北野を想い出され、満足げに感じられました。

三部の演奏を見事に指揮して下さった野口藤三郎さんに感謝の花束が楽友会から贈呈されました。

続いて「六稜の星のしるし、を静かにしかも厳肅に斉唱し、閉会の挨拶が副会長の上野淳一さん（昭和三年卒）によってなされ、更に上野さんの力強いおんどで万才を三唱、無事、めでたく終りを告げました。

短い準備期間で、これだけの行事が成功出来たのは卒業生全員が一丸となって努力したたまものですが、この一年間骨身惜しまず、毎日のように東奔西走して記念事業一筋に打ちこんで下さった大先輩の山本勝男さん（昭和三年卒）、新井清さん（昭和三年卒）、田村博孝さん（昭和九年卒）、その他多くの役員の方、又毎週のように東京から応援にかけつけて下さった高垣二朗さん（大正十五年卒）に敬意を表すと共に深く感謝したいと思います。

百周年記念行事総てに結集された偉大な力でもって百十年、百五十年に向って前進しようという決意が全ての同窓生の胸に刻みこまれたことでしょう。

市民への感謝のつどい、

報告

実行委員長

62回 八木 彰一郎

創立100周年記念事業ノ一翼ヲニナイ広く大阪府民へ謝恩奉仕スル趣旨ノ「府民へノ感謝ノツディ」ハ9月29日（土曜）正午カラ4時マデ堂島ノ毎日ホールデ下記プログラムデ盛大ニ挙行政サレタ。

1. 映画「明治ノ大阪」

大阪府教委制作

2. 同窓会長挨拶 寺尾威夫氏

3. 大阪府知事式辞 黒田一氏

4. 講演「大阪100年ト文化」

経済学博士 宮本又次氏

5. 音楽

①グリーク「ソナタ第2番ト長調」

②大栗裕「淀ノ水車」

③ヴェニアフスキー「華麗ナルポロネーズ」

バイオリン独奏 辻 久子氏

ピアノ伴奏 千葉 翠氏

6. 映画「恍惚ノ人」 森繁久弥氏主演

予算ノ關係上準備ノスタートガオクレ御心配ヲオカケシマシタガ豪華デアッタノト、ポスター張り街頭ビラマキ等ニ各委員ノ奮闘努力ガ実ヲ結ビ入場者約1200名ト満席ニ近イ盛況デアッタ。

無料開放デシタガ観客ノ質、上品静シユクデ北野ガ主催シタ文化ノ催シニフサワシイ雰囲気デアリ又記念給会ノ前夜祭ノムードヲ盛り上ゲタ。

コノ行事ノ企画実行ニハ新制高校卒ノ若い委員バカリガ活躍シ同窓会ノ次代ヲニナウ世代ノ実力ヲ示シタ。又毎日新聞ガ終始協力シテイタダキ便宜ヲ計ッテイタダイタ事モ銘記シタイ。

六稜カラー濃厚の弁護士劇「エウブリキン」

毎日ホールで「府民への感謝のつどい」が催された同じ9月29日、同ホールとは目と鼻の先の桜橋サンケイホールでは「弁護士劇」と銘打って62期、山本次郎君作のアイヌの義民「エウブリキン」が上演され、脚本、演出、俳優すべてが弁護士と云うことでマスコミが一せいにとりあげたせいもあり会場は満員の大盛況。

山本次郎君は知る人ぞ知る昭和24年春の選抜野球大会優勝当時の投手兼外野手で4番バッター、対岸屋高校との優勝戦では多量投手と交互にマウンドを守り優勝に大きく貢献した名選手であるが、東大進学後法学部に在籍しながら野球よりも文学や芸術熱にとりつかれ今回の「エウブリキン」も在学中から構想をもっていたもので彼自身も敵役レンカウクで出演、主演のエウブリキンには51期～53期の津田禎三氏が熱演したほか仙波安太郎氏（54期一大阪弁護士会副会長）清木尚芳氏（58期）鎌倉利行氏（60期）米田宏己氏（65期）等の同窓生が出演、ロビーには北野中学52期生、53期生、北野高校62期生などの花束がずらりと並び、恩師岡島吉郎先生はじめ62期生などは毎日ホールよりもサンケイホールの方に多く集り、ここでも六稜カラーが大いに発揮されて100周年ムードに花をそえていた。（62回田中睦記）

母校創立100周年記念事業寄付者名 (卒業年度別)

昭和48年12月末日現在

(注) 氏名の前の数字は口数
(1口: 2,000円)

感謝をもって次のとおり報告いたします。

募金委員会

委員長 高橋 慶夫

副委員長 田村 博孝

総 計 4,219名

10,979.4口

21,958,800円

名簿掲載広告代 136件 9,573,000円

同 未 収 17件 1,080,000円

なお、万一御不審、疑問、その他御気付の点があります場合は同窓会事務局まで御連絡下さい。

(明29年9回卒) (計1名: 2.5口) 2.5 飯倉寛太郎
(明34年14回卒) (計1名: 2.0口) 2.0 大西義
(明35年15回卒) (計1名: 2.0口) 2.0 小池宝三郎
(明36年16回卒) (計1名: 2.0口) 2.0 大島重義
(明37年17回卒) (計1名: 2.0口) 2.0 笹部新太郎
(明38年18回卒) (計2名: 17.0口) 15.0 石津作次郎
2.0 田中兼隆
(明39年19回卒) (計1名: 3.0口) 3.0 勝徳雄
(明40年20回卒) (計1名: 5.0口) 5.0 小林愛三
(明41年21回卒) (計2名: 4.0口) 2.0 田中好三、浅井竹五郎 (明42年22回卒) (計11名: 10.1口) 1.0 宮口俊二郎 石井嘉徳、越ヶ谷寿三、中村茂吉、西野亀太郎、山脇虎雄 平佐潔、永長茂雄、原田憲次郎、富士貞吉 0.1 山上九三郎 (明43年23回卒) (計7名: 15.5口) 5.0 森森三郎 2.5 緒方洪平 2.0 西海朋三、秋田栄之助、山根徳太郎 1.0 津和備市、芝川又太郎 (明44年24回卒) (計7名: 33.0口) 10.0 中原繁之助 7.5 長浜基左衛門 5.0 仲田真一 3.5 山本登 3.0 長井育 2.0 渡辺頼九郎、谷頭半 (明45年25回卒) (計8名: 67.5口) 50.0 前田和三郎 5.0 島田益平 3.0 佐藤雄 2.0 山田新十郎、宮道悦男、玉井義雄、芝川栄三 1.5 頼田伊三郎 (大2年26回卒) (計3名: 6.5口) 2.5 八田勝三 2.0 増田仁三郎、須川憲太郎 (大3年27回卒) (計13名: 27.4口) 4.0 阪田増人 2.0 谷川丙三、一海景有、川上良兄、久保恒忠、若林義明、堀義一、藤井謙次郎 樋口貞三、塚原伸光、土生重雄、三木元三郎 (大4年28回卒) (計18名: 38.0口) 5.0 勝正雄 3.0 松山一忠、菅澤重彦 2.0 廣田慶蔵、山本武、伊藤光太郎、日野国雄、進藤馨、勝田哲、芥澤、中尾隆一、下村時之助、浅野重太郎 吉岡栄一、中川絶夫 1.0 宇賀武雄、萩原義治、山本道男 (大5年29回卒) (計17名: 31.0口) 2.0 木村静次郎、上條博、椎名六郎、長谷川久一、館見清一郎、生駒権七、恩智正義、炭本種次、木村治郎、上本喜一、川原寅彦、坂本美夫、芝孝治郎、栗原健三 1.0 草間賢吉、北之坊廣、小野理三郎 (大6年30回卒) (計16名: 64.6口) 10.0 杉村喜一 5.5 吉岡新一 5.0 酒井捨重、寺西頌一、澤大防一郎、阪本勝、三池鎮浪、築山英一、梶原茂喜 2.6 牧野辰太郎 2.5 山本尚之助 2.0 森政正、酒井芳次、片山増五郎 角楚武一 1.0 戸沢信義 (大7年31回卒) (計16名: 40.1口) 5.0 江藤順蔵、山口正身、栢田泰昌 2.5 上野益三 2.0 梶谷正義、関二郎、中川豊三郎、丹沢吉男、林徳三郎 横山良因、青木保雄、大野弥三平、山本弥二郎、日野光雄 1.6 小島慶二 1.0 山田三人 (大8年32回卒) (計23名: 57.6口) 5.0 小野弘三、西村純平、寺村貞治郎、六後已未

会 2.6 木村賢治 2.5 野平上、宇賀康、勝木良一、河村伊之助 2.0 片岡長冬、斎藤亀太郎、村井藤十郎、西田常一大道俊英、松平九州男、福井健升、竹内五郎、木村登三郎 増沢浩、長沢由次郎 1.0 石村祐二、平林虎雄、箕輪吉人 (大9年33回卒) (計41名: 151.8口) 25.0 外島健吉 15.0 桜根太郎、仁村祐一、柏尾英三郎 10.6 藤原修美 5.0 松野文治、磯林政三 2.6 八住利雄、岡林広志 2.5 小笹集夫、藤中博 2.0 北村喜一、岡村忠一、松田弥一郎、伊藤春三、諏訪悦太郎、大西広次郎、平尾俊一、春元隆二、牧野利三郎、島田九郎、藤原安二郎、田中栄一、山内正司、寿栄松清寿、山田富次郎、石川汎、西野好次、島清治、木村孝三、酒井弥三郎、徳永米二郎 1.0 中島潔、角和一岩井文一郎、橋崎勝司、元治浩一、松井喜代次、井上鍾三 島田耕一、堀井泉 (大10年34回卒) (計23名: 56.6口) 5.6 菅井一夫 5.0 上田敦、指股清、井上秀之助、吉川重呈 2.5 生澤藤繁、中川重治郎、橋本貫一、尾池剛一、野口英之 2.0 清水宇一、松浦修、佐藤孝作、石西尚次、伊藤秀三 1.5 川口晋 1.0 村田成美、佐多直康、加藤利志、藤原主一、橋本孝治、友田勉明、松下大 (大11年35回卒) (計17名: 36.1口) 5.0 森川秀雄 3.0 祖父江龍治 2.6 深尾進造 2.5 高木暢太郎、村川達三、橋留義夫 2.0 荻野克巳、遠藤亘、左海藤太郎、竹田庸、青木直敏、大橋和夫、川上和克 1.0 伊賀征央、菊田太郎、橋一、京極尚道 (大12年36回卒) (計22名: 555.6口) 500.0 寺尾威夫 15.0 赤松修 4.9 杉江直巳 3.6 林常太郎 3.0 山崎満夫 2.6 難波達雄 2.5 福津平八 2.0 柴田日年男、五嶋貞夫 梅原義一、後藤康平、杉野忠三、浜田太喜三、磯野維吉、西尾英一、吉田広三 1.0 岩崎章明、由上正道、吉岡栄夫 龜井英太郎、奥田士清、藤原俊雄 (大13年37回卒) (計42名: 100.1口) 3.6 平井平八郎 3.0 山口正義、笠松健 3.0 仁谷正雄、古武弥人、岡田茂美、谷本義盛、小来田幸生、百瀬弘二、竹中靖一、弓削経一、山村博三、田路草、早崎広種、森安正、岡田重吉、松倉豊治、喜悦新一、田中清 2.5 島之夫 2.0 中村勝郎、木門源三、山本保、宮崎四郎、浜村嘉幸、緒方義吉、橋本薫、為川善一、大崎義夫、中原茂敏、厚田勝、大沢一郎、前野善蔵、國友正、田中順之助、野々田義義、高木敏雄 1.5 橋本清幸、吉田和助 1.0 宮野季雄、西宗健三、尾形健作 (大14年38回卒) (計43名: 147.8口) 30.0 玉置敏三 25.0 河崎邦雄 5.6 野田忠二郎 5.0 朝香三郎 4.5 江村英雄 3.0 田中平治 2.6 榑本敏男、弘中嘉雄 2.5 木田経吉、田中孝二、鈴木才蔵、安成周利、山本清、柴田盛夫 2.0 廣瀬源太郎、平田憲一、扇谷睦吾、西原周男、北村英一、阪本安一、小室

利光、西川長教、幾島英二、岩尾健次郎、吉田信武、井上武夫、高橋一郎、高安彰、阪田一郎、春海申三、池上義輝、善積俊一、関原猛夫、小林篤郎、谷口幸三、山瀬俊男、田中熊一、佐藤正彦、吉見豊 1.5 生野啓三 1.0 有田祥太郎 吉井欣治、今井秀雄 (大15年39回卒) (計69名: 245.7口) 50.0 高垣仟二郎 10.0 中谷孫一、関野美 5.5 大浦信三、堀泰夫、百々貞雄 5.0 黒田常三郎、西村信夫、伊藤元義、林芳郎、三宅利雄、吉津信亮、白井次郎、岩垣重太郎、出羽助一、清水朝太郎、板谷健吾、川瀬勇、飯田精次郎、井上健一、安井琢磨、千葉次郎、水谷弘 3.1 森寿太 3.0 副島榮榮、菅瀬正重 2.5 光延有三、中村武雄、田中太三郎、赤堀富一、五味一夫、鹿受小太郎、大谷親志郎、藤井正義、和田忠蔵、野田二郎、宮崎豊一、竹村賢一、松野一雄、森島隆雄、中村了、福井俊一、藤井清一、島三郎 2.1 杉野知博 1.5 中野秀次、勇亮、沢田正夫、天野清房、喜多尚之助、香村雄雄、伊藤次郎、古島要 1.0 山本正英、小西正治、西川英秋、横田準二郎、山崎俊次、山田長守 (昭2年40回卒) (計76名: 208.5口) 20.0 高橋慶夫 15.0 関克巳 10.0 安場忠雄 5.6 長井実 5.0 満田忍夫、山階信弘、筒井清、種子田幸、岩崎純一 3.1 永藤一 3.0 谷口英香、林一周、岩前博 2.6 大瀧一郎、片山勇、金沢弘政 2.5 平野恵空、間島修一郎、岡本政次郎、尾形理、荒木泰通、遠藤哲次、松田岩一、村田正太郎 2.0 宗像忠男、中村宏策、小田助男、安達美知夫、三輪秀夫、西宗康夫、阪口貞一郎、大島英治郎、神田忠夫、西村善司、小西喜兵衛、永井泰蔵、森宗一、池上力、井上幸太郎、木村一郎、山口吉人、山取要、足立彰、鬼一雄蔵、三宅嘉三郎、吉木卓、岡本甫、松永光治、長谷川良夫、川崎忠夫、佐藤清、目黒太郎、森内栄一、相生松信、加藤清一、四方田欽一、横山俊一、小泉勇、平尾勝、辻忠男、黒田正雄、藤田隆三郎、錦織純、野呂喜代司、大崎潤二 1.0 国分勝治郎、柴田三郎、久保久雄、松田栄一、辻欣二、平田俊二、長沢武雄、吉増重三郎、平田俊郎、浅田隆、石田正夫 (昭3年41回卒) (計79名: 336.35口) 15.0 村井浩、黒田了一、上野淳一、森川茂兵衛 10.6 塚本一郎 10.0 畑中慎一、山本勝男、重松典雄、築山義雄、斎藤栄一 5.5 土出滋、藤本元次郎 5.0 岩田由一、館田幸夫、中西実、野木一雄、米田薫、新井清、棚垣正巳、田中喜良、井上修蔵、青山祐一、川田正夫、日納恭次、間島大治郎、中島善太郎、広瀬三夫、畔池正良、藤本保、俣野四郎、松尾竹一、福定泰一郎、山本治雄、中瀬作太郎、曲直部正夫、末吉健、伴隆、善積信二 3.0 中西安次、森本佐一 2.5 元木春夫、兒玉市太郎、浦田清一、武田健一、渡辺一郎、多胡尚一、向井太郎、芝敏一、岡田喜雄、栗山保男、大西欣一、本位田昇、祭原俊介、北橋忠男、佐野一雄、伊豫又夫、脇田悦三 2.0 北村学、玉木恒雄、佐藤俊一、成田功 1.5 大川誠三、坂口嘉三郎、今幾多玄雄 1.0 大森啓一、和田正、田中幸太郎、市場幸助、吉延陽治、潮崎俊一、西川伊之助、山本泰三、吉岡敏夫、浅岡照久、多田時造、阪上治郎、渡辺省三 0.5 木崎博 0.25 小野田潔 (昭4年42回卒) (計65名: 225.2口) 10.0 鑑谷修一 5.5 脇阪栄一、北脇一雄、辻慶三、本庄武重、大西正一、高田祐 5.0 溝口義雄、尾崎省吾、上西鶴一、別府善一、杉本利夫、磯西英次、久保龜夫、廣橋次郎、吉田辰雄、神先秀雄、梶山教次、仲本豊一、八十島五郎右衛門、川北誠、林清、大西惣次、田村節三 4.0 上田静治、鑑田通夫 3.5 浜谷弘、上村光男 3.1 堀原栄一 3.0 野瀬健三、三木重雄、田辺彦太郎、鈴木朝、津川虎治、金子龍一 2.6 塚本二郎 2.5 平尾正雄、重松良樹、阪上欣二郎、重坂順二 2.0 島田十郎、小島一郎、渡瀬庸三、中山有、吉田庄之助、芳崎徳蔵、国友健一、鎌ヶ江信光、声

田雅秋、渡辺与一郎、小森毅一、塚本秀雄、生駒一彦、長野敏一、樋上賀一、清水順次、飯田昌之助、菱川隆文、寺門四志猪、秋吉蔵、森藤太郎、大照完、森本薫 1.5 三木三郎 1.0 黒井俊治 (昭5年43回卒) (計83名334.85口) 50.0 鴻池藤一 25.0 田鍋健 15.5 鎌田庄蔵 10.0 小野雄造 5.5 三宅薫太郎 5.0 浅海正雄、前田一男、中橋正衛、野田友之助、中村周吉郎、谷弘、中村清、加藤大、戸井浩二朗、猿丸朋久、岡村新一、織野竜雄、西尾毅、角谷良一 4.4 富山義一 3.5 浅田登、佐野紀兵衛 3.4 足立護 3.1 田中治雄、磯崎忠男、白羽弥右衛門 3.0 本脇一郎、阿波野栄、米田一彦、有馬正、大瀧清夫 2.5 中島敏、柳瀬勇男、林俊三、山内初、昭五会 (静岡)、古武弥正、三谷肇雄、塩崎実、妻鹿友一、大西正三、山内二郎、宮尾嘉正、新谷春水、森八郎、松田英一、嵩信正、伊藤美三、斎藤定男、黒田力、李正夫、安原敏、中村光男、小池都一郎、飯田季俊、吉川清兵衛、井上明二、宮里俊一、瀬川健一郎、森内昌彦、氷室一郎、三木亮助、太田正、田中忠典、中谷正二、安藤隆敏、小寺幸正、安田忠一、大塚謙二、種田芳男、杉原一男、馬本邦蔵、徳永敏一 2.0 玉木四郎、浅川正、田原正邦、山田光賢 1.5 小林稔 1.25 東田敏夫 1.0 西沢覚三、江藤悦三、川野孝孝、中島敏 (昭6年44回卒) (計77名: 195.5口) 10.5 奥田義郎 10.0 浅岡三郎 7.0 佐々木恭太郎 5.1 井上康雄 5.0 菅邦夫、藤井通雄、大村理三郎 2.6 鈴木康一、伊藤一郎、岩本正彦、堀龍雄、北川睦男、大成功、畑隆義、片山敏一 2.5 飯田正美、常田修、梅田悦二、酒井英之、森田利光、友田均、渋谷義雄、久富良雄、松本頼善、湯川泰秀 2.0 面寛仁、西海清太郎、桂新、蛭沼寿雄、荒井博、大内清雄、公莊惟成、関野正、中田茂雄、奥谷行夫、河本登、水口秀夫、石川文忠、岩井一郎、安原克巳、沢村栄治、中沢野雄、加藤誠一、池谷邦人、黒田泰輔、三又福治郎、寺田徳重、小串正次、谷岡博、天野茂雄、松下昭三、神前昌三、斎藤文平、浜信次郎、中塚一、斎藤豊一、三木憲二、山崎明智、杉山平一、辰井正明、中山健一、郡秀雄、広部泰、坂本正臣、野元彪一、泉英二、川本義三、田中実、岡本富三郎、溝口輝彦、島名三郎、二階堂昌保、堀江達、大崎隆太郎 1.6 西村一雄 1.5 田杉進一 1.0 嶋松 (昭7年45回卒) (計83名: 194.3口) 11.5 野間宏 5.6 山田元四郎、中村治 5.5 岩崎寿男 5.0 川上陸郎、中川武一、高須洪一郎、井口崇、森繁久弥、布施敏信 3.0 杉沢英男、森哲一 2.6 芦村通高、平井透、杉本正太郎 2.5 岩本清、杉村圭一郎、中島尚久、高野栄蔵、富田成久、松井一雄、竹本清、広瀬豊三郎、三木五郎、松山隆三、高木茂、田中静夫、笠谷喜之助 2.1 藤田彦彦 2.0 青木英仁、佐藤美夫、井利昇、野田隆一、福島勲正、古座谷修、峰玄長、関高寛、白井猛、倉田順雄、山本符、木村正信、兼田晴重、野崎龍治、安東尚雄、弓削隆一、高山捷一、森井準雄、小野善三郎、前田隆吉、山本茂、山崎博、吉岡利男、中野頼、有山正次、古江正市、畑中良一、赤沢久、土井万一、遠藤治雄、松本哲太郎、大槻光武 1.6 里田美雄、森正義 1.5 山崎直計 1.0 塩浜文雄、馬場重雄、磯尾汀一、一色雄州、守口長英、松本富士男、西田誠行、瀧生達一、森島重勝、稻葉正就、高田英夫、田中源二、西村文吾、斎藤雄太郎、中村孝明、森山康夫、南部博、都須亨一、小星雅雄 (昭8年46回卒) (計45名: 118.1口) 10.0 宇野庄三 7.0 守屋篤太郎 5.0 石黒政治、橋本弘 3.0 奥田泰明、寺田正一郎 2.6 久志本元也、石川彰、吉川清、河野司、荒川玄一郎 2.5 松本淳治 2.0 山本武、高原道夫、佐々木達也、福喜多通夫、野原保、野原義次、奥村宗夫、今井保男、小寺信三、青田龍世、徳山正文、牛田晴夫、大島知之、中村一、西岡弘、永田慶三、田中貢、堀部浩一、平田玄斎、坂本正一、田原正

信、島本晴雄、本間千弘、浅井竜太郎、石田謙一、永木勝
 1.6 畑田三 1.5 田中義一、西野忠勝 1.0 川瀬芳郎、桑波
 田龍五、大原憲二、泉山三良、羽取浩、竹田曉洲、河野宏
 根東正巳、森弘一、横村博介、相生智一郎、磯典理、中太
 郎兵衛 (昭和9年47回卒) (計104名:362.0口) 25.0 木下
 高明、田村博孝 15.0 龜山仁郎 10.0 小林兵衛 6.5 福井
 一夫 5.9 上野富信 5.6 藤田榮隆 5.5 益子正巳、日高成彦
 5.0 太田亮一、小川安彦、口村茂一、萬谷丈夫、小野順造久富
 秀、阪田精男、政家恒彦、平松壽司、杉山茂彦、中瀬博次、矢野
 龍二、松浦伯夫、津田隆治、堀啓作、高田哲男、秋田一雄
 杉野実、里井進、井出義政 4.5 渡辺敏夫 4.4 酒井武男
 3.6 吉川正吾 3.1 余田博通 3.0 中林亮巳、木村純一、清
 水幸生 2.6 西尾季夫、塚原隆三、毛利可信、山崎永巳 2.5
 木本信男、木村晴夫、井尻克也、村松忠樹、片岡秀太郎、
 岡本重一、永田正男、萩原七郎、倉本佐一郎、萬谷浩、篠
 崎健二、飯田自登、守谷一郎、富田正敏 2.0 平田昌三、
 丹部雄雄、池田栄一、稻垣賢二、濱正、平野鴻、青山博
 次郎、福井達郎、井上健吉、長谷川清隆、大橋健三、国宗
 正義、桑卯之助、岡本浩、福澤義夫、長妻喜重、有坂三郎
 由井恒一、植村英一、畑中津、三浦勇、龍本義雄、吉村三
 郎、高木隆、穴倉充、内藤正常、青山志麻次、吉田武雄、春
 元信治、今津三郎、安藤藏、末廣重憲、宮崎得、小川誠、
 池田要之助、野々村尚典、松井嗣夫、山口正巳 1.0 原豐
 平、古畑銀之助、安原勝、吉野隆太郎、別府邦夫、高野幸
 政、大江一雄、西田好、坂下俊郎、菅実、池田滋、峰岸謙
 三 (昭和10年48回卒) (計78名:378.7口) 16.5 徳永次郎
 15.0 江藤善七郎、笹子仁、後藤基夫 10.6 福田弥之助
 10.0 石井進、原富一郎、広瀬真五郎、伊藤長兵衛、前島
 敬夫、北村謙三郎、矢崎守也 5.6 岩尾一、石上光、鎌
 田富藏、平沼平 5.5 太田武男、仲川喬 5.0 木村樹治、井
 利順、本田早苗、畠中忠司、浅野知行、久松豊、杉山大助
 神谷克巳、上村五郎、樋口達、椎原廣、山田善二郎、越島
 一郎、徳丸朗郎、桜田親明、中西進、早崎邦俊、関谷善
 弘、川瀬貴誓一、浅海浩、木田繁、三砂栄次、小菅宇八郎
 村田震一、兵頭正義、尾崎克幸 3.5 住居鋼一 3.0 中井茂
 富永安、田村功、古川誠一 2.6 有原敏 2.5 福武義夫、官
 本貞夫、稻原康太郎、渡沢金之助、浅野和夫 2.0 谷口仙
 三郎、長栄一、瀬戸正夫、小野佐吉郎、三宅勲、沢近宏、
 今村忠一、岡勝巳、滝貞夫、藤山卓夫、御内一男、蒲生浩
 田中正誠、久保田勝、川西順一、飯田周助、祐野忠三、新
 井清、長谷仁一郎 1.6 西田昌二 1.0 小西忠、片山巖、松
 井八十男 (昭和11年49回卒) (計92名:267.25口) 17.5 鈴
 木正一 15.5 内山敬敏、石川多賀夫 10.0 宮原康 5.5 眞
 島利三 5.0 河崎晃夫 4.0 飯崎新五郎、山野達男 3.0 福
 家秀方、藤井達也、澤田健三郎、善峰憲雄、田坂秀之助、
 八木市藏、沼田文助、小野重寛、尾向三治 2.75 高木達雄
 2.6 中村典美、中島榮男、關谷謙太郎、小笠原彰佑、服部
 知文 2.5 中野大、若林四郎、田中博、大森敬一、浅野節
 夫、寺内正俊、八橋達、大内成介、松分富左右良、北里虎
 臣、田中爲夫、山添通夫、西尾五三男、杉山正彦、中野憲
 一、堀口桂輔、上野盛一、岡本新三郎、伊原尚也、浜本兼義
 山田貞吉、松永勇二、駒竹勉治、藤澤達、島山恒夫、青木
 博、藤本行一、永橋恒雄、竹内英二、庄英男、佐伯修 2.0
 畑山武彦、平田清、岸川栄、中島行雄、鷺野正和、大沢安
 秀、大原増一、早水弘、山内慶三、平瀬眞砂、門健一郎、
 新井信幸、猪尾泰典、西沢壮介、豊岡元、岡野利三、宮下
 義一、古谷太郎、高木敏敏、矢口統堂、吉田益雄、大森司
 正信、有上有、林男、西尾守成、菊池通夫、和田良和、中
 村武夫、秋山博愛、大竹重広、山本進一、橋本卓三 1.0
 山野達男、長谷川武、福井東興之輔、伴信夫、丸尾芳郎、

武口直矢 (昭和12年50回卒) (計70名:213.5口) 6.6 青津
 敏彦 5.0 片岡晴四郎、西田龍夫 4.5 二村隆三 3.6 久富秀
 雄、橋本吉隆、細川俊三、中山栄次郎 3.5 池内明、有澤
 一朗、久松勉、本多十郎、井上修三 3.0 名取康、中川哲
 雄、野田吉兵衛、萩原尚一、清水道之助、北村正治、寺倉
 國福、大西正直、角谷三四郎、早石修、藤村智一、中村善
 男、片岡誠、大西芳朗、高橋敏夫、池中弘、木本敏、西田
 修三、木村規、永田幸令、茨木越、富久宏太郎、平佐国
 夫、居内律男、土田学、尾上豊三、根岸要、川口信一、伊
 藤友喜、伊東祐一、奥田朝晴、大賀泰郎、中道健太郎、高
 畑圭作、尾崎康夫、太田正臣、安部正直、森岡1、村太郎
 柴田定雄、戸井都郎、酒井泰治、木村憲三、梶田順亮、佐
 々木兵次郎 2.5 小泉信一、大津篤造、近江豊、吉川清三
 阿部源三郎、岸本有弘、中村東 2.0 渡辺聖、鹿戸武治、
 清水健一 1.0 北省吾、倭馬左也 (昭和13年51回卒) (計72
 名:188.8口) 7.5 津田謙三 5.0 三浦利数 3.1 黒田秀夫
 吉田綱郎、辻達雄、山内三郎、玉田寿夫、石津一貫、塩尻
 卓夫、増井武彦 3.0 伊藤敏雄、蒲原義夫、竹田眞三郎、
 高村正雄 2.5 諏訪繁樹、羽岡啓憲、山崎隆三、岡田貞男
 池浦次郎、高木康敏、島田修一郎、舟橋良治、加藤貞典、
 馬場新平、須谷寿信、松本健吉、太田幹夫、和田茂之、前
 田喜久雄、池田榮三、中澤俊雄、小島忠男、竹本昇一、野
 口篤郎、八木謙二、河合弥、島津嘉男、森田国知、大市敏
 夫、北村芳郎、松沢一郎、黒河内好彦、宮内義人、広瀬晴
 明、本郷康基、多羅尾善之、鈴木信、谷道之、柴田修蔵、
 藤井弘巳、十合道夫、吉本泰二、石蔵晴八、太田篤男、中条
 良雄、高原俊雄、今井敬一、楠裕充、井本延雄、前川憲
 一、吉田長智、飯島修、野木貞雄、和田安美、桜井健二、吉
 野敏之助、近藤清巳、山本弘 1.5 田村二郎 1.0 津田長治
 谷内清、佐藤光次郎 (昭和14年52回卒) (計81名:256.4口)
 11.5 関隆明 10.0 丸井茂仁 5.5 三原重男 3.6 小林敏夫
 内堀勝史、瀬戸温、小杉岩蔵 3.5 駒田盈郎、堀川理、半
 田二郎、守田文也、富田謙吉、柿川良一、吉岡茂之 3.0
 津山英之助、奥野嘉男、中田左都男、尾崎眞三、山本隆一
 羽田彰、吉川浩一、上原悦彦、深田栄一、家田茂樹、安田
 義三、荻野宏平、酒井高雄、村上保、田中仁也、坂上治雄
 遠藤弘、安藤健夫、新家広、反保久司、永易良雄、小岸四
 郎、岡村富造、山内万蔵、中谷二夫、前田達彦、佐野正夫
 沢田麗花、江崎敏夫、浅田種一、勝武郎、梶井孝一郎、織
 田武、大山亮、干頭英郎、谷市郎、武野永一、森本康平、
 森岡平二、増田庄平、高砂種一、加納敏、河村良光、山添
 精三郎、堀口隆、友清嘉夫、当津周平、寺広映雄、浅野修
 一、上田宏範、垣田仁夫、田村芳朗、門坂勝三、高井潤
 三、榎本正次、別府彰、井上得三、古河太郎、竹原友吉、
 太田昇 2.0 米山三男、山縣剛一、浜本卓 1.5 谷戸道彦 1.0
 西海三郎、高橋寛、藤本修 (昭和15年53回卒) (計105名:
 528.3口) 15.5 中野弘 15.0 緒方正美 10.5 村主恵快 5.7
 敷内榮造 5.6 竹中勉、東代清、鈴木宏、門田樹樹、森田
 正信、田島義弘 5.5 下川均、牧寛治、樋口伊佐夫、桂博
 二、田中道夫、越野圭三 5.0 萩原正幸、北村博一、笠川
 利市、布留俊作、岡崎有朋、鯛谷実、野間光雄、蒲田利和
 牟田実、権野泰弘、広江龍、森口敏弥、川上厚志、清水敏
 野口藤三郎、森島二郎、木村俊作、小川博見、小西信一郎
 東清治、中江要介、杉本慶一、青野利邦、白石亮、秋田正
 治、清水貞保、小石英夫、山下順造、五島裕、阿河嘉之、
 大沼広居、長坂滋、山崎敏夫、小沢晋二、金子豊三、中田
 森男、牧野博彦、国沢直義、岩田秀一、吉田剛治、樋口正
 大、長谷川修一、宇佐美誠三、井上正親、古澤安重、伊藤
 栄治郎、川西隆二、藤山育造、辻井正、菊地道明、奥村雄
 雄、中出章、松本千古、松本彰泰、鈴木流、千尾英一、蒲

田要、西本隆次、深田淳夫、野田三郎、伊藤勝之、山根俊也、長辰謀、東郷隆次郎、笹本正省、若林正男、小原英雄、伊藤孝一、堀福太郎、今井裕、宮崎正、関田範雄、石畑太郎、江口滋也、山川和夫、西田敏次、近藤繁、加口敏二 3.0 栗光博、若林豊治、小沢寿保、清水誠—2.5 柴田豊雄 2.0 藤末宏、阪田耕蔵、市村和之助、近藤一平 1.5 森田寿男 1.0 村田官男 (昭和16年54回卒) (計81名: 215.3口) 5.0 藤田信昭、北浦一、緒方正世、山本和雄、羽室桂三、仙波安太郎 3.1 堀土慶彦、西川一行、井上悟夫、梅澤澄雄 3.0 山本種蔵、俵義郎、秋藤義治、井口由太郎、上山聖之、龍村元 2.5 岡田理、井上機之進、佐藤健三、今井浩一郎、田中孝治、岡村國雄、杉本金三、日野清徳、藤井順、桔梗谷男、吉本五郎右衛門、宮城久寿雄、谷次郎、飯田一良、清水祐三、伊藤道夫、立川利久、中尾益朗、斎藤寛、徳永裕、福田善郎、野波英一郎、沢田昌一、尾形善次、奥田竹四郎、吉原彌彌、林藤之輔、滝沢三郎、藤井太一、砂本元広、東新、八木茂、草深正雄、池見恒夫、久保敏治、劉友博、虎谷高三郎、徳田敏光、林正治郎、辻啓四郎、山下淳、川瀬誠一、稻本満寿雄、石田春弘、本吉定彦、菅野智彦、大嶽久則、本多一郎、小林美、今永勇三郎、生瀬隆夫、井上守也、飯田孝三、木内直人、久保弘、村上育郎、平井正夫 2.4 三谷与司夫 2.0 松本義章、成川健太郎 1.5 高橋弘、古林秀郎 1.0 吉本晴巳、已波敏郎、奥村孝一 (昭和17年55回卒) (計87名: 261.3口) 10.6 塩田一美 6.6 奥井一良 5.6 劉善夫 5.5 岸田恭一 5.0 木戸友三郎、渡辺修治、和田喜久雄、井上鉄石、井田協、奥田至、石津純正 3.6 伊藤俊夫、志賀裕 3.1 常岡武雄、青木孝頼、岡三郎、山本孝光 3.0 角谷保、宮崎亨、野村邦造、山口秀夫、福井澄男、中村良二、津垣宜教、中村隆 2.5 村上保、松田久、山元章、中山健、高島嘉明、橋本道夫、林田果知郎、北村孝雄、武蔵進一、神下守、寺西博、青山正巳、北川俊夫、杉山茂夫、幸野文治、岩根弘、吉波真三、下迫龜市、山田裕太郎、栗田満信、酒井良之助、加藤実、加藤健寿、末中哲夫、山根俊二、中山勝太郎、山下健造、藤井一義、林真一、小谷修一、西村博、平谷吉高、桜井孟、藤井潤一、木田幸雄、服部金四郎、中村哲三、山東允、柴田一信、徳永義一、高橋為男、武田須美、大須賀二郎、永山尚夫、杉岡清史、直原一美、杉本正二、中山英男、小谷恒之、古川博視、浜田博也、俵和弘、藤井博、北尾直三、米原好久、橋詰四郎、寺島治良、飯上豊、松下健辰、宮尾英一、中条敏雄 1.9 榊原超 (昭和18年56回卒) (計87名: 360.15口) 10.0 緒方正名、森本金吾 5.6 堀崎弘、藤野岩雄、小賀野晴一 5.5 三田裕、滝井尚三、横山嘉司、田中実 5.0 藤阪利為、内田親善、福田茂、市川武城、楠本新一郎、小川広史、尾辻浩二、深沢豊、松田保清、亀岡武、河田優、石川佳春、三杉俊雅、平井龍明、中原浩、藤井武彦、飯尾達郎、上原修、牧野嘉宏、原亨、青谷卓、山口勲、下條武男、赤野憲一、角正夫、佐原純、笹岡健三、中田二郎、森島隆夫、土井正裕、北村和男、大山利雄、稻畑勝雄、池田孝蔵、野田進一郎、江川隼之介、土井秀夫、富本弘、山本久生、福田尚、森悦郎、内田克巳 4.0 青木信美 3.6 安田三良 3.5 田中新二 3.0 田敏年、石田正、藤本芳成、加藤義郎、奥信夫 2.65 今井栄 2.5 藤野博、田丸量、吉田源三郎、高橋誠司、神代昭、笹倉博、戸田良郎、野里広成、河原淳二、鈴木直良、平尾照夫、奥田欽之助、吉行護、斎藤三樹雄、福井正二、大長克人、稻賀克、細見弘、村井良雄、武田真次、北村正也、倉賀野武利 2.0 菅原誠、矢野敏郎 1.6 赤木徳至 1.0 中田敏一、片桐努 (昭和19年57回卒) (計113名: 290.4口) 5.6 上島哲夫 5.0 加賀完一、松本善明 3.5 森崎紀 3.1 生野重夫、花岡翼吾、高橋勇

雄、大場健二 3.0 山本和彦、藤田邦昭、西原源太郎、山肩邦男、大曾克弘、池田俊、奥田互、高岡佐太郎 2.9 高田潤 2.5 高石勝比古、平泉源夫、青山道郎、長瀬英之助、六島昭治、磯谷徳治郎、吉見武、山口道博、木下礼仁、山根馨、高岸常也、賀部一郎、内田俊策、橋上好郎、高津周平、藤田田、垣田隆三、青山正樹、山内昌雄、小関皓平、中津允秀、中村耕之助、民野幹男、桜井慎一郎、橋本哲郎、羽生文武、小倉敏夫、石瀬和正、堀谷健二、森章博、塩飽隆明、尾形貞三、谷利誠三郎、生野斌、田中界、河盛孝夫、松下勇、川崎賢一、伊藤忠一、大野康次、稻本喜久雄、林賢、森本元成、山田順一郎、北垣隆三郎、藤瀬芳弘、井上治郎、木ノ本市雄、大塚嘉吉、丹下庄一、垣田八郎、野村賢二、斎藤昭太郎、宅山史生、川島康治、岡昭一郎、岡村博、鈴木秀三郎、吉田文二、小岡敏三、名和成介、重栖一正、関谷全、金子寿三、大村貞明、永田敏、村上浩路、浅井正、中西正七、松本正平、井上恭一郎、池田幸雄、森雅文、田島三郎、千田稔、黒田邦彦、今西喜治、尾崎克明、吉田正浩、近藤裕光、西尾達郎、堀敏之裕、福田省三、増谷宏、眞崎光晴、清水治一、熊沢善三郎、浜田精造 2.0 津垣昭夫、小竹正男、島山信郎、森幸洋 1.0 笹山政実、米馬増夫、藤本尚三、森井日出夫 (昭和20年58回卒) (計153名: 449.2口) 20.0 武田昭典 15.0 羽岡平安、西脇伊兵衛 7.5 正保章 5.6 松九哲也 5.5 中出隆三、大道準一、國枝義治 5.0 武村富治夫、西沢順造、渡辺清、浅越昭二、上島啓一、清水尚芳、高村光一、河崎伸博、上田吉孝、安東久明、西川善方、清水睦宏、松永俊夫、江藤基雄、渡辺勇、尾辻司郎、安田重徳、上小沢道弘、楢崎浩二、飯田正夫 3.6 辻本清司、磯山和夫 3.1 奥野茂 3.0 阪本幸男、野木茂、斎藤博、松浦康男、和田和夫、谷満雄、今井進、宮川潤二、大室一也、野口洋一郎、秋山宗裕、塚崎定一、小田一豊、金澤龍雄、河井昌巳、尾崎巖 2.6 清水敏彦、小谷卓男 2.5 森田健二、井上正彦、松岡秀矩、伊藤良彦、太田正典、後藤良成、三上喜久男、飯田富久、瀧生達三、北村聖、木村篤文、源昭雄、大須賀昭夫、田中潤、菅沼良治、松本茂男、倉田陽太郎、黒田大典、長谷川元郎、小林辰夫、橋本昌、木村良一郎、河原巖、樋口徳光、浜田鉄之助、亀沢芳久、加納諭、深川龍典、林正信、奥道誠一、尾崎孝雄、小久保康、玉井男、小林隆、小山一郎、眞砂博成 2.0 竹下吉樹、杉本満夫、別所弘資、米原克彦、大澤浩一、高島学司、吉田三郎、西澤一郎、幡野茂明、佐々木節也、山口武津雄、近田孜、三木栄三、岡田稔、櫻野尚男、北川周洋、小林敏夫、田淵耕三、矢野義、田中彰、山之口孝太郎、本多二郎、中島宏通、吉川栄、木村一男、松本昭、北村隆夫、橋本泰治、津村達郎、岩下大輔、外村栄作、雨宮弘、伊藤隆文、小川逸啓、藤本勉、寺田茂雄、板野安博、高尾裕雄、松下尚、栄木一成、大崎正春、栗庭昇一、林泰三、松尾哲男、国宗博、岡江茂 1.6 吉野進五 1.5 柴田幸雄、西岡昭、中島健太郎 1.0 中津仁秀、小出鈴三、桜井寛、桑原昭、岡崎公彦、伊藤太裕、川上勝、木村芳一、角井寿保、河野泰通、徳永理一、池田孝一、藤田尚英、中小路茂次、伊藤恭道、今中宏、田村哲也、近藤正次 (昭和21年59回卒) (計29名: 72.5口) 5.0 藤沢友吉郎、獅子順一、大立博巳、大田義彦、野原隆治、青山政雄 3.0 石原宏郎 2.5 西本嘉康、高野兼一、成瀬久昭、杉山健男、中村吉郎、川村敬彦、広瀬誠男、鈴木四郎、館田悠紀人、赤松剛夫、和田利夫 2.0 中井益代 1.0 堀比奈鈴三、高橋貞行、山本達雄、辻肇、徳田三郎、竹井泰二、鈴木敏三、白井豊、石川貞二、村田夏樹 (昭和22年60回卒) (計68名: 257.3口) 10.0 中田昌宏、浜名茂治、中村喜一 5.6 西村三郎 5.5 井上喬之 5.0 堀秀康、松重忠雄、吉川正、田中康雄、大西

喜久雄、高島康雄、和田慎三、片岡庄文、首藤福二、元村宏、有木昭、本埜和夫、松永亨、松九弘、米谷稔、萩谷修、西岡章好、井藤光治、野原英雄、岩井博一、鎌倉利行、坂内幾男、高木正巳、澤清太郎 4.9 木田隆夫 3.1 谷口洋、八島好市郎、兼田正啓 3.0 橋本公義、前多良彦、神島隆山本昌男 2.5 清水豊、藤井康司、大西啓隆、生島幹三、今井廣一、三島佑一、中谷輝男、富田齊、水野信男、岡田和夫、池本義一、喜多眞澄、阿部貞雄、土井莊平、難波勝末岡利雄、日高成、三科敏久、大塚雄造、水野御太郎、永井昭、菊仲輝雄、吉村清、酒井純一 2.0 長谷川正治、高岡敏夫、阪本亮二 1.0 田中昭、大原安嗣、阿部英男、中橋清一（昭和24年61回卒）（計88名：242.1口）6.9 阿部哲夫 5.0 内藤寿一、坂本彬、田村新十郎、森田善一郎、山鹿昭幸、山本嘉正、西畑憲治、萩原正保 3.6 藤村清兵衛 3.1 徳永孝哉 3.0 織田俊男、清水寛 2.5 本谷康人、村木正明、亀島広、津田宗孝、殿内順、守武慶子、中塚栄一、増田裕弘、八尾欣一、神崎知成、辻本健次郎、原田雅之、松本三郎、木村繁、福部隆、永井保子、吉田孝司、栗田仙次内田耕太郎、宮津淳一、西岡克生、北澤章男、中野忠雄、松野千秋、松宮利明、目黒敬男、森森男、広岡仁夫、大菅勝仁、細川和彦、岡正勝、白川茂、吉澤忠義、二見義雄、谷本照道、小谷寛、白小路良郎、松本靖史、小林英夫、甲斐武彦、山崎利夫、仙波隼夫、川上雄三、木原幸久、佐野哲郎、織田行正、箱崎喜胤、萩原博、中島啓吾、治田秀義岡野博郎、市田太一郎、杉谷庄太郎、下平基昭、三河寛治、高島英雄、野々口平八郎、森豊一、永井貞三郎、水谷男、三井孝之助、河口靖、小畑雄二郎、馬淵章吾、伊坪輝男、岩崎守男、館友啓、和田章次、東松次、小久保隆正、中尾昌照 2.0 元林勝一 1.0 成尾茂、中出日出男、竺原俊行（昭和25年62回卒）（計121名：353.65口）10.0 加藤二郎、田中睦、佐藤功 7.5 八木彰一郎 5.0 山本次郎、栢田圭児吉鶴男、浜吉正章、吉村英夫、吉田康雄、広瀬繁雄、織田信男 4.1 森幸彦、加田吉晴 3.1 正田耕一郎、白井二実 3.0 向井功、山本巖 2.5 川本新一郎、井川国夫、池田良彰、三川保明、市石巖、藤田秀男、三野一、松本義三、鬼頭正二、林宏之、古武隆弥、中真一、體屋善雄、梅田明、鶴田康森近健、安西晟、和田富三、福井甚一、宮本勝、山口宗男、曾我榮弥造、嘉山高光、品川潔、柳田昌夫、末永茂夫、尾辻孟、福田明、吹田俊一、新東一郎、高倉六雄、戸川啓、村田芳伯、那須賢三、長谷川圭市、長谷川三春、小松雄介渡守武雄、福島正治、原寿治、東海武夫、杉原光威、伊藤彰彦、村井義明、泉泰通、角田英夫、森川一郎、堀博之、古川西夫、梅本昌、大高順雄、山本和市、澤田育長、野村幸雄、近藤信勝、鈴木巨一、杉浦重光、瀬戸浩蔵、今木一雄、西村正美、大泉清、長谷慈久、佐藤茂、山本章夫、湯浅敏弘、吉田良一、川原金次郎、桑畑誠文、菱谷一朗、久野久仁夫、備我悟、三國光造、泉名喜勝、柴田義克、小沢逞夫、井上耕一、瀧浅富一、平尾元宏、伊藤精久、辻文雄小杉浩、松本和久、山田良一、吉田耕一、野里常富子、巽健造、松本善秀、升谷栄一、末岡信男、喜田啓史、井原節三、秋山守英、和田章次、伊藤隆、末松千代治、西野曉、芦田圭一、引田英男、北山武、植村實太郎、梅村賢太郎 2.0 岡野順成 1.25 中田淳治郎（昭和26年63回卒）（計133名：296.8口）5.0 笠城典子、村岡有尚、北村恵一 4.0 島昌子 3.1 北島慶、田中藤雄 3.0 吉田晴男、服部利幸、佐竹渡稻葉教、稻垣謙子 2.5 辻師正知、田淵鉄司、日昔吉尚、木船勝嗣、島徹、室敷、山口義明、高藤誠、山田博文、野村政孝、飯井康時、渋谷孝太郎、蔵本男、井上年弘、青木福和、比山寅二、駒沢弘、伊丹靖子、山崎寛、中尾英夫、北中博三、加納栄一、木口健治、庭田英一郎、栗橋孝子、

住永稔一、酒井彦夫、天野義彦、安井哲郎、畑中正一、久田昌司、国米惇、新田嘉輝、岡野幸行、上山敏男、阪田喜秋、奥村誠、山野一、奥楚男、大前善隆、佐本準造、山内一次、高桑敏、大川亮三、多田清輝、川口孝義、長谷川和夫、倉田英孝、坂内精次、和田誠夫、笹山孝次、川原繁宏島田善夫、北村治、渡辺和美、河崎令一郎、宮本孝次、北岡秀利、中川良典、清水襄二、堀川文男、新家彬巨、明石利比古、角地正純、慶留間一、川井秀夫、堀2.0 近藤和子、永原幸江、坂本八重子、堀千恵子、吉川ト子、佐野紫子今井道子、鈴木美都子、大江正子、徳岡幹子、小林晴美、九智美智子、中村貞子、絵所治代、鈴木素子、菅田元、竹中敏子、山田敏子、川村喜一、二谷世洋子、巽教子、菊地和子、龍居道子、牧原悦子、斎藤富美子、清水和子、山下永子、岩田伊都子、松浦美英子、栗山幸子、夏目美智子、木村喜世子、牧野金吾、阿山勝郎 1.6 門脇謙二 1.5 奥田治松田好晴 1.0 中西謙一、金園清友、安原佐与、中川奈奈子、関寿元、牛尾和子、大和雅子、浅野綾子、水野喜久子奥田昭子、庭田立女、桃井国子、岡田悔、西山ひろ子、加藤啓子、上田弘子、南部朝子、田村貞子、永野裕（昭和27年64回卒）（計122名：260.6口）10.0 森南海子 5.6 田中博 5.0 廣本照夫、岩田江一、室田益弘、川島弘、吉岡紀彦 3.5 吉田隆三 3.1 宮崎靖、細野恭男、大谷基、末弘繁、片寄精一、岩崎精彦 3.0 菅野正、梶哲雄、野川博、高村裕 2.9 大西信夫 2.5 澤木夜光、四反田正司、中條為弘、山家健一、上田義一、林朋生、権田悦通、江畑賢一、足立一郎、清水一弘、栗園豊、土井正之、加納裕司、門田嘉弘近藤啓一、東義之、今井滋郎、広瀬種男、田村幸造、山本修滋、西野義一、尼子昌枝、荒木萬治、西田重信、山本修三、足立俊一郎、敷和也、野村安宏、中野芳彦、榎泉弘一岡田惣太郎、松岡正、水島喜壽、平山秀介、常俊義三、中川隆司、豊洲明光、家近正直、川本晴夫、中西弘、平井信三、陰山節郎、吉岡康裕、中石雄章、宇和寛一郎、時森啓行、佐藤伸哉、片山智行、西山潤 2.0 柴山富貴子、大塚公子、宇野葉子、植田勉、河原滋夫、中野平、田村弘子 1.0 小松原啓子、石山美奈子、阪上愛子、森裕子、土岐千佳子、美濃富美子、足立朝海、林寛、林雅子、西池有子、船越都、内田正代、河原昭子、柳本昭子、伊藤寿美子、園田美也子、本岡典江、田辺満智子、森武子、島崎允子、土生浩子、浅野高弘、福田孝、久島孝子、上田良子、小森尚子古賀美香子、渡辺喜久子、坂本恒子、荒木満子、岡部寿美子、吉岡絹江、三宅佳子、吉田義弘、福田雅一、北村禎子横山康子、池永裕雄、神村正弥、神藤陽子、中村清子、太田担佑、池田錦子、高橋季子、東野章子、北村美佐子 0.5 脇田晴子（昭和28年65回卒）（計135名：277.4口）6.6 中島澄男 5.5 沢村安子、岡田一彦 5.0 船曳正人、川合孝郎、浅井政昭 4.5 三木克之 3.6 中川純一、遠藤彰 3.5 塩谷博、谷藤裕 3.0 佐々木健一、加藤公明、田中嗣也、松吉甫笠城孝夫、本多俊夫、本田芳治、森川朝、溝田正巳、山下宗加州、白石金彦、竹内慶司、梶山忠男、八木隆明、赤枝清介、伊藤眞平、日昔吉武、正田英昭、井川裕雄、岩戸嘉明、川村次郎、松本睦雄、中村敬、若田公平、錦満弘光、杉浦徹、高月章而、福岡実、山田寛、石井常夫、山根義夫、一宮一、明石仁、田中敬介、志水孝、加瀬和夫、松谷俊彦、佐々木均、桑原義明、笹本国彦、坂内三郎、平井信和、岩田省治 2.5 宮嶋俊明、沢田延直 2.0 大道直行、西村知子、梶本喜久代、西垣早苗、藤井周子、浅野澄子、西田貞夫、橋本清、川端忠信、大崎一夫、松田潤 1.6 松下智恵子、青藤多美子 1.5 植村和弘、山口幸子、堀田静枝 1.0 竹尾健男石井吉子、結崎美恵、小寺慶子、三枝玲子、新居田良子、橋本敦子、海野晴男、中井都、中島佳子、富岡三津子、駒

谷右年子、山口淑子、栗林道子、園米恵美子、名加恭子、吉田富子、藤盛嘉子、松中薫、林彰子、西出和子、中元康子、宇坂慶子、山本美穂、木村糸子、龜谷喜世子、望月薫行岡陽子、井上寿々子、日比野武則、竹内直美、吉野定子、加藤朋子、南山満子、荒木圭子、久下英子、有田弘子、森田孝子、本多孝子、今中英子、東野智恵子、森惟明、田尻弘子、林きぬ、野村紀久子、野村峰子、野村茂夫、正田紹之進、興津純子、宗保江、野口周子、藤田政江、福井美樹子、西河寿江、久保寿美子、西川幸子、中村敬子、浦上穂子、三木田鶴子、笹本美知、河野房代 0.9 岩瀬信二 0.5 松吉健子 (昭和29年66回卒) (計117名:203.5口) 10.0 稻村宏史 5.5 武田外來雄 5.0 太田徳郎、山室弥生、小松彦三郎 3.0 丸野隆、生越久靖、島羽一 2.6 稻本一夫、池田隆一、松永健 2.5 三宅淳子、山本藤二、鶴丸泰男、倭傲子、松本彦彦、津田忠孝、中西藤和 2.4 泉道信 2.0 池口勝章、今田弘、松本充弘、林敬三、野田進一、平井佑二、若林正敏、大澤順、刈谷憲樹、山口善昭、今井茂博、花住恵一、稻葉貞夫、志南博、高山純一、松村秀雄、任田栄夫、上田武雄、原田俊樹、山本芳郎、戸谷卓爾、大庭克巳、丸野豊子、赤石順三、高畑豊、長沢達宏、島村俊行、石井良宗、石河秀夫、清水正啓、吉田正子、長柄壽、園米宏、古林久岳、西田道弘、大隅義彦 1.6 小森美子、本多成子、明瀬津多子 1.5 外浜敬子 1.0 林鏡子、八代淑子、山田喜久子、岡田梅子、上治紀子、永久俊子、鶴屋喜代子、片山敏子、橋幸子、浅野良子、杉本昌子、寺田敦子、岩崎賀寿代、奥野清子、浜田夫実子、大内かほる、畠田知子、津田祐子、生島三恵子、蛭川昌、粕屋初子、西村寿子、福田智恵子、筒井八重子、青山孝子、今井愛子、中山和恵、麻田満寿美、三宅幸子、隈恭子、楠本宝都美、下條道子、須佐美淑子、大和捷男、赤澤成子、水野美子、井関隆子、森田克子、酒井美江、石川真代、加藤喜美子、高井恭子、赤尾三代子、島村喜代子、林澄子、山崎富喜枝、辻鏡子、山口雅代、柏原みさを、近藤欣子、桑畑茂文、川上芳子、宇野麗子、熊田宮子、美並慶子、宮美都子、京谷嘉二、平野光広 (昭和30年67回卒) (計114名:194.3口) 5.0 角田篤美、井上英子 3.6 森比佐子、松川百次 3.0 石渡篤一 2.6 小林泰子 2.5 杉尾伸太郎、加地伸行、前忠雄、森岡清三郎、池上良寿、本津浩一、上嶋終司 2.0 鈴木良太郎、福井晴出、松江渡、神宅寿昭、山口淳子、山下滋、佐野雅洋、前川幸作、豊田長、岡本恭介、史順根、関節、星明三郎、長谷川道子、谷村昌幸、中馬弘毅、吉沢力男、池田正澄、今田正子、福原孝子、真水精二、内閣安彦、田中秀範、豊田敏、藤井英敏、宮嶋和明、竹歳治平、北川雅子、岡本和、松下政豪、清水金彦、二階宏昌、西野文雄、平井克、橋本雅子、北村佐千子、竹内博、日高徳、坂本龍二、萩原章子、三宅豊子、橋本和子、古林万昌、眞常良次、小池浩、館田隆弘、立石博臣、杉浦和子、関山守洋、角田睦子 1.9 中川和宏 1.6 今岸英昭 1.5 田中寿、仁田道義、今井敏雄 1.0 田中道子、北垣次彦、田村道子、大上博雄、綱原弘雄、尾崎馨、久保田正、池永悦治、池本千代子、伊藤民子、徳山美代子、植村俱重、林孝子、芳諸律子、大嶋サキ子、福田雅治、大野浩史、松下郁子、土井恵一、鈴木民子、北川幸子、安藤由枝、森美沙子、小野田宏子、水間淳夫、水島美規子、中道幸恵、牧野典子、田中望、小沢まき恵、芥川基嗣子、内田吉徳、塩崎寛、長野生子、京谷久照ノ郷桂子、吉橋隆美、加藤礼子、川谷三和子、関理、西田充重、大屋富代治、平泉省子、寺脇文男、竹林治、木村幸子 (昭和31年68回卒) (計153名:291.2口) 6.5 泉祐彰 5.6 西尾雅行 5.5 岡島忠 5.0 邑上治兵衛、福田英、白壁武博、大月厚生、金沢富男 3.0 入江達雄、佐野利和、岩

田俊雄、宮本勝 2.6 今中幸男、吉田昭一 2.5 宮田徳積、古橋申行、乃村昌臣、三木武、中川勝義 2.0 高松孝之、坂本俊一、東海林六郎、武内宏之、大田寛、小形敏夫、飯塚英雄、辻本嘉助、森本清一、岸本嘉名男、梶矢祐治、上田義輝、小山賢二、木村照、井上宏昭、加藤明信、佐野芳富、山下博三、山上敏一、朝田成一、松谷元夫、大瀬義重、由井寅之助、瀬口靖幸、井上里子、廣瀬貞雄、三原康博、北村忠義、藤洋作、難波寿太郎、狭間直樹、大隅保美、田川滋亀、金田徳、祖父江義彦、稻本浩一、永井昭子、川村正明、内藤静彦、大賀正行、田中英子、東津雅充、大岡浩、三石武男、田中順弘、朱明仁、山田英明、高谷安英、野村敬、前田房重、金田雅壽、中出伸一、上野信隆、高橋正直、志賀昭信、中川一之、高野裕士、大橋明、中田澄男、今西多賀雄、久保昌司郎、景山健司、大野修、岡本正、前田佳行、東野嘉直、由利裕計、声田敏祐、下井敏道、永見俊宏、田畑博康、大谷弘、上条孝二、福島有恒、山本守、桑田圭司、加藤典弥、近藤恵美子、野村隆夫、中野正勝、飯田豊、町井良雄、伊東輝久、上月佳子、島名弘 1.4 大川昌 1.0 谷山久枝、仲田桂子、河原登志子、大下弘子、内川佳代子、末岡知子、小倉文子、黒沢安佐子、松田好子、浅野節子、松谷桃子、久保久美、肥田郁子、中西俊夫、稻屋登志高、岩井素子、井垣好子、福原和枝、西内暢子、大岡千鶴子、高取桂子、尾上恵美子、藤野恵美、荻野都子、松原鉄男、荒木剛子、梶井政子、横山博一、新居千隆、坂本由子、壽島久子、塚田史城、小川忠雄、森義、佐竹時子、岡田恒彦、佐藤昌夫、酒井相恵、敦賀康博、谷口清子、新崎三千代、二宮淳、中村光子、中院俊子、藤井好子、井上美沙子、佐野広子 0.5 松下郁子

(昭和32年69回卒) (計64名:101.5口) 5.0 黒川高秀、田中良子 4.0 安野清 2.5 文公弘 2.0 吉田修治、水野晃、李世哲、上田芳明、永田和夫、西村捷男、小寺義生、神伸一、須知照雄、田宮義弘、小林清、下村昌弘、高田佐智子、善積武典、大西宏明、鈴木一、泉裕二郎、林一三、坂田保孝、稻葉昭夫、千歳和秀、鶴野克彦、岩本洋子、渚紀代司 1.5 松村日出登、嶋川和子 1.0 丸野薫子、吉田好子、青山千春、清原祥恵、杉井治夫、安田千賀子、吉田眞澄、首藤佐和子、野瀬武彦、上野登志枝、黒田悠紀子、佐野広子、福西基幸、生田征治、落合雅子、小林周子、園府薫子、早川章子、早川謙一、広田登子、岡田鈴子、泉和子、園米千世子、武田韶子、大沢基子、田中敏明、介田二十子、大谷昌平、久野弓子、金井善子、江口喜代、神野厚英、村井忠雄、山本佳知 (昭和33年70回卒) (計86名:108.95口) 5.0 有田弘2.6釜江常好 2.0 中井良和、東海林敏、伊藤民子、吉村弘、丹羽弘、山本智英、田中潤次郎、岡尚子、播磨照浩、植田文造、横田勝久、奥野哲久、黒川森光、葉山信三、林靖彦、山元良一 1.6 小川達二、田中耕一 1.5 秋山孟士、原田敏一、渡辺弘子 1.0 銅金蔵、長尾多一郎、龍野桂子、茅本幸三、自見弘子、守武輝代子、近藤健吾、野間元彦、京田桂子、渡辺優、五十鈴川浩見、吉沢知子、曲直部健朗、河原史郎、瀬島宏一、谷村知子、草尾健司、西田敏、岡和子、漆戸啓二、野尻男、大谷泰夫、城昌子、羽尾秀之、植山美代子、田中宏子、山本剛郎、藤田淑子、水口日出徳、稻本英治、橋本得、中村育子、大矢博明、小林健治、高橋文子、畑利通、佐野信三、斎藤泰乃、吉野公章、森脇祥子、重村義紀、井内弘、梶原昌平、増田美枝子、安川善克、高橋弘、大西堂文、久保棟男、松田雅子、山下修一、役藤臣、赤松佳香、八幡衣子、大谷弘枝、大谷健二、有先武文、羽田寿夫、江藤千世子、一柳正義、石井健夫、布垣昌伸 0.5 大前慶子 0.15 郡田和彦 (昭和34年71回卒) (計56名:92.1口) 4.0 高嶋文彦

3.0 西田清教、大西俊行 2.6 半田忠彦 2.5 林典弘、千頭芳久、黒沢清治 2.0 木谷幸雄、安岡邦彦、大沼透、黒川直明、栗井郁雄、守田芳男、喜多紀子、浅野嘉之、蛭川克、竹西壯一郎、上村克義、徳田芳弘、岸本博充、伊藤武裕、山原進、吉川紀一、政木篤、吉野彰男、橋和田恵、浪具毅、加野温、香月栄爾、清水宏誠 1.0 山中幸一、小室静子、坂津龍子、中藤幸子、北川裕康、坂口省三、木内陽起子、吉村正紀、多賀谷美暢、進藤千津子、竹村元宏、中村二三子、小島紀代子、石谷有子、富長健治、松本義宏、阿部博子、山下元子、友行久昭、安田篤史、上田陽子、中出絃作、寛場利香、野沢巖、野田弘三、池田絃一

(昭和35年72回卒) (計57名:96.9口) 5.0 金田弘一 3.5 井上一興 2.6 宮下夏栄、橋本俊博、丸山英敏、福富経昌 2.5 藤直道、木下康臣、山西弘一 2.0 羽岡安雄、林宏輔、坂幸史、秋田公佑、吉田幸雄、立川昌幸、船戸愛子、岡田俊純、磯村昭夫、古市逸郎、川辺昌信、島田巖夫、岩崎南海雄、松野隆一、浅野紀夫、小山善子、谷口英一郎、岸田多門、小畑俊弥、日野忠和、松本学 1.5 西野敏克、松山將壯、奥野恭子、上野弘之 1.0 阪口マサ子、藤本武司、和泉静江、大島秀子、茂木正子、村川洋子、吉村雅子、阪野恒子、東中後代、蚊野百合子、後藤定義、岩城カヨ子、曾我洋子、藤田信枝、岡田八重子、真野絃二、川崎勝弘、田中秀佳、笠野洋子、中井俊子、坂元孝子、黒田明子 0.5 佐野澄子 (昭和36年73回卒) (計45名:51.0口)

2.5 木村洋一 2.0 岡田雄志、泉二郎、高橋桂子、伊与田紅子 1.5 宮下豊勝 1.0 窪田憲吾、津田秀雄、嶋康隆之亮、藤井幸子、寺柚一徳、谷本明、小山善子、小西尚武、鈴木繁実、坂田篤子、岩崎武雄、後藤悦子、白倉良太、岸田光晴、佐藤芳人、宮崎妙子、富永嘉男、田中康彦、片岡珠子、二宮利男、林良三、小倉依子、垣内直雄、黒田康子、中村秀樹、土谷昭、大橋博、福田節子、杉之原三広、森雄造、岩崎雅江、浅宏臣、高橋敏行、邑上利世子、御給伸枝、杉浦恵司、眞弓宏、吉本光之、佐藤洋子 (昭和37年74回卒) (計40名:50口) 10.0 西五辻邦光 1.5 高原衍彦、滝恒夫 1.0 田島一美、秋山建人、松尾嘉徳、松川佳子、二木英昭、吉村武子、湯原裕子、一宮正俊、塩山忠義、堀川頼昭、長村みどり、栗山慎路、日納義郎、田中保子、藤城健雄、柏木恵美子、山中猛、岸田健一、筒井満喜子、佐藤澄子、岡田秀穂、砂山良子、寿栄松正信、桜田洋子、橋部高志、橋部幸子、藤悦子、加藤千恵子、大久保通進、山本裕子、篠原生子、松島俊一、豊田武久、松本正雄、今井孝夫、西久保鉄朗、吉田哲平 (昭和38年75回卒) (計58名:68.6口) 5.0 米虫明子 3.0 横田千枝 2.6 榎本豊 2.0 小西阿候子、奥田一夫 1.5 勝一弘、杉山隆吾 1.0 垣内剛、上田国昭、吉本宏、石崎敏子、三輪順彦、小泉明、田中昭、藤野昌男、江口一弘、杉浦澄、浅田昌宏、山川和夫、望月陽子、高橋修一、津田礼子、鈴木彌子、森隆太、柏木明美、山本勝成、藤本昌則、横山勝英、中村暢雄、酒葉美智子、池田健一郎、鈴木章彦、福永泰道、後藤猛、伊藤和子、辻よし子、南部秀雄、赤松育子、鈴木十郎、杉田博、天川靖子、山田純子、小竹茂雄、宮崎史康、久保香代子、木村敏彦、安田和子、八木沙美、直原信子、岡沢恵英、浪江輝雄、保沢邦昭、小山純子、別府慎太郎、村上肇人、蓮沼洋子、栗字弘、下村泰志 (昭和39年76回卒) (計49名:52.6口) 2.0 小崎博、北岡満、小野祐路 1.6 谷本卓司 1.0 山本信行、牧村好實、土田耕弥、新井直人、柴川武博、丸山芳雄、吉田公子、八木隆、北原道紀、荒起清、柏田尚子、久谷道子、見野和子、村上和子、後藤孝一、三ツ浪正行、北村隆、水嶋肇、中尾雄造、杉本富美子、清水勝一、久保田光、森田治秀、穂永千秋、中川健

朗、中西啓子、梅本正敏、深田晴世、水谷光義、平野裕幸、伊藤要一、金原正幸、細谷雅敏、福井朱実、神方弘文、中島完、米田美恵子、新階富美子、柴崎恒子、日下恒夫、坪井瑞穂、奥田英子、河北美紗子、大浦亮一、坂本喜代松 (昭和40年77回卒) (計54名:63.0口) 2.0 上田憲子、三原正、大林源一、青山茂治、栗本佳子 1.6 須沢武雄、中井恒子、高田愛子、吉田良、香山道男 1.5 高津勝春、淵上博 1.0 安田宏志、安藤邦彦、安藤加知恵、木谷篤孝、飯田紀彦、倉石純一、山田智一、小泉真一、福田隆、明智清明、永嶋謙子、高木一正、熊谷俊一、中島喜久彦、岡本文雄、高橋清子、山口俊雄、米田日出海、中井信子、三沢純、南井久子、添田隆昭、花原清和、福田和生、小林秀和、佐藤道夫、佐伯周二、石田哲、石濱達彦、前島啓甫、坂口幸子、中嶋佐知子、水田雄一郎、清水淑実、大塚新子、松田道男、吉田哲男、奥野良臣、松本伊登子、桑原豊、河崎肇生、藤本美枝子 (昭和41年78回卒) (計83名:90.0口) 3.0 黒田裕久、内田常夫 2.0 貴田晃、下村純志 1.6 今城文雄 1.5 中島久美、弓取政明、鈴木照美 1.0 木村真人、鍛冶美智子、植松憲子、小泉啓子、長谷川寛治、植田利秋、島田明一、佐々木猛、上原明美、高野隆、内橋麗子、山田麗由美子、樋口聡子、赤井政明、中村一裕、瀬藤一郎、米田実、山地博明、江本敬、藤田昌弘、瀬海康徳、井戸慎一、岸田邦和、山本圭子、松永正弘、吉田重彰、山田晴男、黒川信夫、森谷悦子、松井博史、岡育子、菅原一彦、松本隆夫、玉沖達也、三上博明、家次昭、小林早苗、石川直江、高橋千鶴代、阿部和男、油井英一、小川彰子、森田俊康、重内利明、矢ヶ崎康子、三宅教尚、数影、毛利好、津田彰、土谷繁晴、鈴木明男、樋口敏、岸田知子、小林京子、丹羽さとえ、八木晴夫、松岡幹雄、与川慎太郎、椿谷昇、堀内雅敏、田中裕、高瀬美佐子、上島賢郎、玉木孝彦、谷坂恵美子、別府卓治、酒井俊彦、関山清子、坂本徹夫、釣崎典美、加藤良子、佐々木正浩 0.9 前原静治 0.75 灰井律二 0.25 中村優 (昭和42年79回卒)

(計69名:72.75口) 2.5 竹村陽一、宮崎美代子、植堀良啓 1.25 山地直博 1.0 新田久美子、坂田輝子、羽間昭夫、鈴木康孝、岡田令子、大川隆夫、井口茂樹、池尻研治、福井公子、伊丹正夫、岩間恵、山本一郎、大仲進、甲斐島勝一、太田正敬、安田雄一、熊谷直樹、福山治、山口俊和、岡田貴子、木下マリ、木村伸一、田中敦子、中川純子、井上達雄、松中好子、寺田洋一、小寺ひとみ、尾上二郎、秋本義幸、園崎正好、岩田博、増尾裕子、淵上紀久子、湊敏、坂本純一、中谷勝紀、栗岡永記、東孝一、脇山良、白川洋一郎、渡辺春樹、足立光央、坂田東一、矢追敬造、田中一孝、畑野研太郎、中川鈴子、飯藤隆子、伊川裕子、井本鈴代、成田由紀子、石田耕一、寺岡加代、松尾昭裕、村上勝八、松風研、寺岡修、中野千枝、松尾逸美、泉四郎、尾崎礼子、岩井敏洋 0.5 嘉賀京子、今堀調子 (昭和43年80回卒) (計68名:74.6口) 5.0 鎌田美幸 2.0 岡与志男 1.6 土谷利晴 1.5 谷村和子、堀江明美 1.0 木村信子、中村正人、仁和恭平、蓮井義子、福田正俊、山崎周一、飯田善信、谷山泰史、赤松正夫、玉井啓三、奥野早知子、菅野健夫、江崎直、平岡哲郎、沖野晴朗、石野秀世、豊原隆一郎、与光志津子、坂本正義、西川隆、辻孝夫、日比野幸子、岩田洋子、野崎あき代、岩浅俊朗、古村由美子、塩尻静子、木下敏和、奥田範子、阿部康雄、坂口善子、松井葉子、吉井英実子、坂田芳治、尾崎幸洋、高谷貢、天野礼子、斎藤浩樹、黒本多美子、全田寛、篠崎悦子、上田信行、福田学、楠田ゆり子、八木正明、広瀬俊一郎、岩見和俊、山脇幹夫、今井美登里、小山保子、佐治美夜子、犬嶋満、中川雅

嗣、吉本佳昭、酒井由利子、池田学、江村美紀、嶋飼まさ子、大林祥泰、井上市郎、神田健雄、植木雅治、西田享平（昭和44年81回卒）（計62名：69.3口）2.5 白山あかね 2.0 坂本茂一、高田正博、高嶋文彦、善峰海澄 1.6 高城正司、北村麻里子、橋本富美子 1.0 川崎博司、酒井充、山上かをる、中野守三、玉上信明、服部和子、渡辺真知子、片山由照、玉石真知子、松本清子、市川潤一、新子哲、西川秀夫、富島志乃ぶ、高野照子、瀬見博、高田美佐栄、玉田道子、森本さつき、嶋田政代、二宮正晴、阿部千秋、繁益正則、藤田良治、大西幸子、村上雅章、新井輝男、西嶋準一、嶋上善久、井上俊一、上田信二、太田裕兄、幸島吉秀、前川豊、末廣和人、砂辺信男、田丸登志夫、藤本栄司、伊坂貞治、松本多喜子、沢田哲夫、小笠原淑江、井岡良一、和田豊、岡本政秀、寺口功一、銘野幸代、片村由紀子、武田伸子、大久保恭子、奥野真知子、清水輝久、島田孝、沖見陽二郎（昭和45年82回卒）（計49名：63.0口）10.0 小林るり子 3.0 大西康夫 2.4 中山翠代 1.6 辻井正雄 1.5 月城則男、宮武久和 1.0 竹中克、保崎一生、神門隆、北村一郎、三島章子、鈴木健次郎、別府敦三、足立富郎、秋山祐一、朝生富夫、奥田修一、岩田典子、猪尾忠司、西川和子、三津石祐士、伊勢政代、奈良良一、山本卓、稻毛隆、春日宏友、大西和紀、藤野光世、植田茂夫、花原博史、紺野雅子、藤田文雄、田中みどり、徳永尚子、中尾修治、村上正治、森永都子、中谷晴彦、松山隆司、持田雅行、笹井康典、下村由利子、小松昭雄、永野隆幸、岡本茂、浅井恵美子、森本武晴、金兵朋子、鈴木祐一（昭和46年83回卒）（計56名：62.5口）5.0 月野多依子 2.0 矢部実 1.5 高嶋邦夫、坂元哲夫、鈴木俊夫 1.0 茂松茂人、磯部直彦、山下病巳、大原祐二、菅田豊和、保田静生、鹿川直人、土肥恒夫、酒井憲司、原田良一、浜田朝生、中西敏修、岩浅睦司、古市えり子、掛谷建郎、富家文孝、前田定秋、松浦恒夫、金沢佳世子、村田昭博、浦田英夫、三盛啓亮、森龍子、杉彰、本中伊佐夫、山本進一、中村孝子、吉村高士、大島紀美子、馬場久光、小室隆信、村田秀美、上野厚子、新谷敏明、広瀬雄次郎、本多隆雄、白山英子、多田滋、北野正雄、山本章夫、片村憲司、中山泰男、森本泰代、西尾紀子、武田貞生、植田純子、山部義裕、川島常紀、川口武邦、浜本英嗣、片山輝久（昭和47年84回卒）（計77名：93.6口）10.0 寺沢比奈子 5.0 増田陽子 2.5 井元美智子 2.0 北田福一 1.6 篠田研次 1.5 大前玲子、藤吉健司 1.0 奥田範美、山田紀子、田宮篤、竹田雅追加（昭和48年44回卒）2.5 岡田文親（昭和10年48回卒）10.0 吉本泰和（昭和16年54回卒）1.5 西川武平

彦、中嶋真知子、添田規容子、土手美智子、高田敏行、豆谷裕一、田村勝重、小川賢人、山村隆、時実千代子、小宮山雅樹、西村久仁子、奥田和子、久保成人、内藤雪夫、彦坂裕司、末広一裕、宮地茂雄、森川和美子、掛谷明子、福島陽治、大川清孝、中井幸夫、志賀啓成、徳永賢一、宮脇裕二、島山信敏、渡辺吉章、西河裕、小竹葉子、藤谷伸一、千葉静子、片山登志子、辻伸二、中村祐子、後藤真一、浜村隆司、川村弘明、細木茂、榎木信一郎、釣伸子、江口忠、美本治彦、左子芳彦、永井康久、福井清、藤川多津子、多田はやみ、北橋充、母家寿、松本圭永子、大力隆司、清水雅良、大森昭久、徳永幸雄、明夜隆治、芝原道子、上田哲也、尼田照美、森治久、早瀬隆昌、猪瀬幸男、都岸子、家村一弥、沢井克彦、大竹重彰 0.5 今堀英子（昭和48年85回卒）（計115名：129.3口）5.0 浅野敏行、大森秀二 2.5 八木俊輔 2.0 河村一郎、安達雅之 1.6 菅生篤、中村義範、大野垣妙子 1.5 田中輝夫、茂木康裕 1.0 中川治、小野泰一、松本恭茂、岡本達幸、浅井定三郎、藤井達哉、河嶋俊明、今井英夫、葛西康宏、瀬田倫子、中塚昌治、久富俊明、黒田敦司、坂井則明、小幡和哲、栗山聡子、内田浩二、林宏明、片山裕子、梶谷幸生、竹山聖、岩根久、野田哲也、坂下博彦、栗本眞佐美、土井麻子、野々村遼、居出弘一、秋田正人、西田信治、藤原健三、矢野佳彦、渡辺英津子、本多三紀夫、藤村哲哉、寺林美砂子、酒井良彦、山本悦子、伊丹浩、今田佳美、田中敦三、肥後靖、川辺克朗、村上実千恵、橋本京子、小林左知子、勝新一、佐々木輝子、小坂田耕太郎、武市寛子、佐藤富美子、西川正一、山本弘明、南川久子、荒木亮子、山本和子、川上均、白井恵子、岩田雅夫、朝日啓子、竹村佳也、井手毅、樋口洋子、石居康、谷藤慶一、下村哲司、中村一也、田丸二郎、安部嘉男、武田進、庄司吉輝、辻敬、上野祐士、鈴木康平、中野篤、清水孝郎、清水一男、北浦友治、三浦隆司、岸本五月、星野高、吉川隆、細川文雄、田中まゆみ、桑田潔、服部泰章、嘉藤田進、山尾雅利、川相典雄、西尾久英、建部周二、神保正、山崎裕紀子、丸山眞弘、小田滋晃、藤田昌、高田寿士、木島秀夫、鈴木桂子、宮元崇行、足立昇三、新井彰子、宇野佐知子、宇佐美康子、久保田香津子 卒業年度不明（6名：17.25口）5.0 矢野寛、末井弘 2.0 カノゲン、アサカサブロー、國井素輔 1.25 酒井美久 旧教職員・遺族・その他（5名：49.5口）25.0 伊藤忠商事総殿 15.0 丸井商会殿 5.0 林武雄先生（元校長）2.5 保田茂二郎先生 2.0 松本芳子殿（伯先生娘）

藤井通雄氏の御名譽

藤井氏（44回）は昨年の百周年総会の直後永年教育に功勞ありとして48年11月3日大阪府教育委員会より又引續いて48年11月16日文部大臣より表彰を受けられました。

就而、同窓会々員として、お慶びの意を表し度く、記念品料として、一口千円以上を募集いたしたいと考えます。ご都合のよい方法で2月末日までに同窓会事務局、健垣正巳宛郵送り下さい。

お礼とお願い

校長

44回 藤井 通雄

昨年(47年)4月、着任、10月7日、總會、会則の改訂と1年後の創立100周年記念總會、祝賀会等の諸行事の準備、僅か1年でどうなるかと心配しておりましたのに、これらもすみ今年も早や11月下旬、本当に時の流れは早く、人生の万事は時が片付けていくことを知ります。

さて、私は4号で「同窓の方々のよしみを信じて云々」と申しましたが、全くその通り、実に大勢の同窓生の人々が北野教育の上に日夜の研鑽によって身につけられた知と技等をおしみなく今回の諸事業にお出しいただき大変うれしく思いました。

物ゆたかにして、心のなと申されます今の世に「北野の心」といったものを感じました。

私は今ほっとしておりますが、今後の同窓会の発展のために、会の運営その他について新機軸を出していただかねばと思います。よろしく。

天 佑 神 助

39回 高 垣 仟二朗

創立100周年記念總會並祝賀会が盛會に終ったことは、洵に同慶に堪えない處である。

100年という歴史の重味をこの度程身に沁みて感じたことはない。その永い歴史的事実の前には如何なる障害と雖も雲散霧消してうものであることが事実を以て証明された。但し、古い歴史のみでは奇蹟的な事は実を結ばなかったかも知れない。やはり、最後は、全会員の「団結と努力、がものを云ったのではなからうか。古来「神は自ら助くる者を助く、と云う言葉があるが、この度の行事を行なうに当って正にそのものズバリと思われることが屢々あった。掲題に「天佑神助、と記した所以である。以下感ずる儘に記してみる。

先づ、第一に挙げねばならぬことは、藤井校長先生(昭和6卒)の昨年4月1日付を以てのご赴任である。私がこの報を耳にした時、正に晴天の霹靂と云おうか、我と我が耳を疑ったのである。併し、それは正に事実、これこそ正に「天の声、であり、闇夜に光明のさす思いであった。正に手を叩き足の踏む處を知らずとはこの時のことを云うのである

う。これで、私が10余年に亘って主張し続けて来た文字通り卒業生の同窓会(会長が卒業生でない同窓会はオーソドックスな意味に於て同窓会でないと云うのが私の主張)が実現すると共に、100周年の行事は万事うまく運ぶと思つた。

果せる哉、行事は總べて絵に画いたように盛會に終った。この事は勿論、会長を中心に会員諸君の努力の結集の賜ものであることは間違いない。

併し、その陰に在って、最も忘れてならないのは、藤井校長が赴任以来、この記念總會が終る迄の永い間、公的には校長として、私的には一同窓会員として、自己の總べてをこの總會に賭けてくれたことである。藤井校長の赴任なくしては、この成功を実現し得なかつたと言つても決して過言ではないと思う。これこそ、正に天佑神助の賜ものだと思は逢う人毎に声を大にして語っているものである。

第二に挙ぐべきことは、藤井校長の赴任に依つて、同窓会長に卒業生を選出することが実現したことである。而も、昨春秋の定時總會に於て、全会一致を以て、寺尾威夫氏(大正12卒)という永年母校並同窓会に、陰に陽に、尽された先輩を会長に仰ぐことに成功したとどと思ふ。又、会長を補佐する副会長として河崎邦夫(大14卒)上野淳一(昭3卒)鴻池藤一(昭5卒)の諸氏並に東京六校会長前田和三郎氏(明45卒)と云う立派な方々を選出し得たこと、かてで加えて、顧問には、阪本勝(大6卒)外島健吉・藤阪修美(両氏とも大9卒)玉置敏三・野田忠次郎(大14卒)の諸氏の如き政財界にその名の通つた方々をお願出来たことである。こう云う立派な布陣が出来ればこそ、全会員もガッチリスクラムを組むことが出来、有終の美を飾ることが出来たのだと確信している。

第三に挙ぐべきことは、この創立100周年の行事を行なうに当って、奇しくも、大阪府の最高幹部である知事に黒田一氏(昭3卒)副知事に鎌田庄蔵氏(昭5卒)が居られ、又、大阪市の高級助役に内山敏義氏、石川多賀夫氏(両氏共昭11卒)のご両人が居られる。偶々府と市の最高幹部にこう云う方々が居られ、格別のご配慮を得られたればこそ、記念行事として大阪市に寄贈した梅林公園計画の実現も頗る円滑に進んだわけである。こう云う恵まれた環

境と云うものは、人為的に作ろうと如何に努力しても出来上るものではない。これこそ、正に永い歴史の所産であり、これ亦、天佑神助と称して過言ではなからう。

尚、この機会に、大阪府建築部次長の市田太郎氏(昭22卒)と大阪市公園局公園管理部長の嶋崎浩二氏(昭20卒)のご両人が梅林公園の実現と造成に一方ならぬご尽力を頂いていることを特に記して感謝の意を捧げ度い。

最後に、一言附記したいのは、この成功の陰には各種の実行委員会に於て、委員長の依頼する儘に、終始黙々と手足となって働いてくれた数多くの若い人々の情熱と努力を決して見逃してはならないことである。この若い人々の力こそ、今後の同窓会運営の原動力であることを期待し、深く感謝の意を表するものである。(昭和48.12.1記)

反省と感謝のつどい

11月29日(木)夕方から美々卯本町店で、100周年記念事業総務委員会を中心として50名余の方々にごあないを差しあげ標記の会をもちました。折廻しくかぜの流行等で取消の方があつたりして結局30名の方がおこしいいただきました。はじめに上野副会長のあいさつ、松野文治氏の乾杯ではじまり短時間でしたが大変なごやかにすぎし記念行事のことを話しあい次の行事は若い方々でしっかりやって下さいということで話は中々つきず、定刻をすぎて、毎度のことながら横浜からおこしの高垣仟二朗氏の方で解散しました。

(44回 藤井通雄)

梅 林 公 園

新井総務委員長や上野副会長が言及されております梅林公園は嶋崎大阪府公園管理部長の御指揮の下に著々として、所期の計画が進められており、本誌が会員の皆様のお手許に届く頃には一部公開の運びになるのではないかと考えられます。多分新聞の行事欄にも、その記事が載るものと思われまふので、梅花の咲く頃には、新聞に御留意頂ければ幸と存じます。

六稜文庫・寄贈図書目録

(昭和48年12月末現在)

百周年記念事業の一環として御協力をお願い致しております同窓生関係の著書、刊行物を中心とした「六稜文庫」に対して、現在迄御寄贈願いました書物は次のとおりであり、母校図書館内に一隅を設け、後輩諸君の勉学に寄与しておりますので御報告並びに御礼申し上げます。
(52回丸井茂仁)

- | | |
|--------------|---|
| 川瀬 勇 39回 | 日本民族秘史
土と草と血 |
| 小林 敏夫 52回 | 基礎時計読本 |
| 殿岡 辰雄 34回 | 詩集 遙かなる朱
〃 重い虹 |
| 小寺 幸正 43回 | 法学
家族関係学 |
| 田中 治雄 43回 | ダムの地質
学位論文集
地質学入門 |
| 西田 誠行 45回 | 児童福祉要論 |
| 野間 宏 45回 | 青年の環全5巻
De Luxe われらの
文学Ⅰ
野間宏の日本文学
全集35
野間宏、武田泰淳
集 |
| ラグビー部 | 北野ラグビー50年
史 |
| 末中 哲夫 55回 | 山片蟠桃の研究
夢之代編 |
| 正田耕一郎 62回 | 初等トランジスタ |
| 藤本 一夫 52回 | 教科書 |
| 北村 学 41回 | 藤村竹外漢詩
(末吉氏より) |
| 竹田 聰洲 46回 | 近世村落社寺と神
仏習合 |
| 吉武 弥人 37回 | 栄養生理学 |
| 上田 隆史 37回 | 栄養生理学概論 |
| 古武 上田 隆史 59回 | 栄養生理学概論 |
| 高橋 慶夫 40回 | 新版鉄骨構造の設
計 |
| 古武 弥人 37回 | 生化学 |
| 宮本 貞夫 48回 | 地震の研究 |
| 北村 学 41回 | 歌人有情
白郎詩鈔
同続編
竹外二十八字詩詳
釈
春帆楼百絶錦詞小
稿詳釈 |
| 米谷 稔 他 33回 | 印刷用紙 |
| 機本正次 他 52回 | ファッション
インダストリーへ
の挑戦 |

余田 博通 47回 農業村落社会の論
理構造
農村社会学

余田 博通 47回 農村社会学
松原 治朗 29回 七十六年復古大五
会

大庭 脩 57回 親魏使王
船載書目上下
江戸時代における
唐船持渡書の研究

藤田 田 57回 ユダヤの商法
黒田悦子 他 80回 ヨーロッパ修学旅
行

大島 重義 16回 塗装技術便覧
今井 俊博 57回 消費人類の考現学
街の考現学

万貨品の考現学
メガロポリス化の
なかの消費者像

八木 浩 57回 フルトヴェングラ
ー

R・シュトラウス
ハイネ

木船 梯嗣 63回 ネパールの医療事
情

大平 恵一 46回 屋外広告とディス
プレイのデザイン
ネオンサイン
日本サインデザイ
ン年鑑1971

同 1972
藤中 博 33回 曲線追跡法
島 三郎 39回 スポーツ切手

原稿募集

本会報の原稿をお送り下さい。用紙、字数は御自由。ただ紙面の都合で内容を短くすることがありますので、御合みおき下さい。テーマは同窓会消息でも、本会報の編集、刊行等についての御意見、又より根源に遡って、本号に藤井校長が提起しておられる同窓会そのもののあり方等々何なりと御自由にお取上げ下さい。
(編集委員)

同窓会名簿

残部が少々ありますので、お申込下されば折り返しで郵送申し上げます。

一部 1,200円 (送料共)

六稜百年・その懐い出

やっとなことと、総会当日ざりざりに刷り上つて、御出席の皆様にお渡しすることが出来、ようやくたとの御言葉をお願いいたして、ホッとしております。ただ、何れ次の会報で収支決算報告をお目にかけますが、内容が予定より増えた上に、折からのインフレで予算を大巾に超過して、不本意ながら会員の皆様へ一部200円以上のカンパをお願い致しましたこと、まことに申し訳なく思っております。おかげさまで、その超過分の埋め合せが出来、御援助の程心から厚くお礼申し上げます。

尚残部が少々ありますので、同窓会などお集りの折、幹事よりまとめて未入手の会員にお頒ち願えば誠に幸と存じます。その際いくらでもカンパをお願い出来れば、同窓会の運営、特に今後増大することが出来て、誠に好都合と存じます。併せて御配慮の程、お願い申し上げます。勿論個々に手間代を含めて最低150円の送料を郵便切手で結構ですから御送り下されば、折返し郵送申し上げます。
(土出記)

編集後記

いろんな事情で本号を昨年中にお届け出来なかったこと、担当者として申訳ないことと、恐縮しております。本号は田中君が主としてその衝に当たって下さって、立派に刊行することが出来ました。又応募金者名の校正という一番しんどい仕事は、自分の責任だからと、側垣事務局長がその勞を執って下さいました。ここに厚くお礼申し上げます。

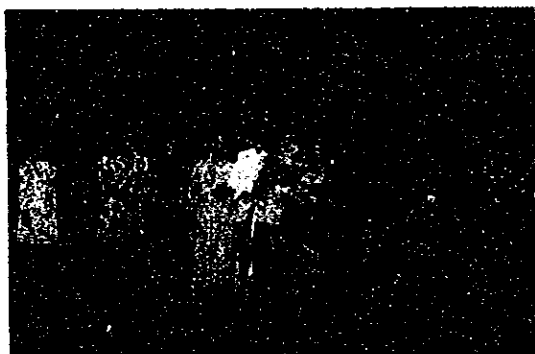
今年は年末の油断のあと、早々から、弗高円安という、あらしに始まりました。甲寅の年は大事件のある年廻りだそうす。前回の大正3年は、桜島の噴火に明け、6月には、第一次世界大戦が勃発しました。その前の安政11年は黒船さわぎに日本国中、たつた四杯の蒸気船で夜も寝られず、ついにふるアメリカに袖をぬらして、ペリーに名をなしました。果して今年はどうな風に過ぎて行きますか、会員諸氏の御健康を切にお祈り致します。

(49.1.24. 土出記)

百周年式典記念アルバムより



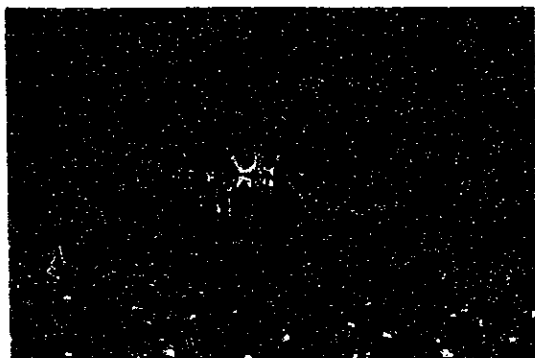
開会を宣言される前田副会長



女子卒業生（63期）に囲まれて御満悦の森繁久弥氏



寺尾会長式辞



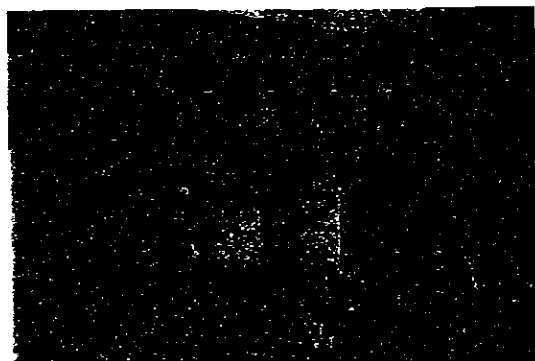
会場にこだまする終幕の万歳三唱



黒田知事祝辞



朝日文化ホールで懇親パーティー風景



藤井校長挨拶

昭和49年2月1日発行
六校会報 第6号
(百周年記念式典報告号)
編集 土出 滋・田中 睦
大阪府立
発行 北野高等学校内
六校同窓会
電話 06(303)5661代表
振替 大 阪 6 8 0 2 5
印刷 藤江コロタイプ
印刷株式会社
電話 06(762)1868代表